

ACAD-DENKI

2019

(32bit / 64bit)

バージョンアップユーザーガイド

ACAD-DENKI をバージョンアップインストールする前に必ずお読みください。
本インストールガイドでは、下記の製品のインストールについて説明しています。

ACAD-DENKI インストールメディアからインストールできる製品

- ・ ACAD-DENKI
- ・ 電キャビ
- ・ データコンバータ(E) : 32bit 版のみ
- ・ 図面 DENKI 化ツール

ライセンス管理サービス インストールメディアからインストールできる製品

- ・ FlexNet ライセンス管理サービス



本バージョンアップインストールガイドについて

- このバージョンアップインストールガイドは ACAD-DENKI 含む図研アルファテック製品(以下、本ソフト)のインストールについて説明するものです。
- 本ソフトは ベース CAD となる AutoCAD の各バージョン(以下、AutoCAD) または、BricsCAD で使用するためのアドオンソフトです。AutoCAD、BricsCAD は別途、ご購入ください。
- 本ソフトを使用する前に、Windows や AutoCAD、BricsCAD、ネットワーク環境などが正しく動作することを、あらかじめご確認ください。
- このインストールガイド中の画面ダンプは一例です。実際の画面とは異なる場合もあります。

ご注意

- 本書の内容の全部または一部を無断で記載することを禁止します。
- 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 運用した結果の影響につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

Autodesk、Autodesk ロゴ、および AutoCAD は米国 Autodesk 社の登録商標です。
Autodesk, the Autodesk logo, and AutoCAD are registered trademarks of Autodesk, Inc.

BricsCAD やそのロゴは Bricsys nv の商標または登録商標です。

<<このページは白紙です>>

目次

I. 概要	1
1. 各製品の動作環境	2
1. ACAD-DENKI	2
2. 電キャビ	2
3. データコンバータ(E)	2
4. 図面 DENKI 化ツール	3
5. 対応 CAD・OS (共通)	3
2. 製品構成	4
1. ACAD-DENKI	4
2. 電キャビ	5
3. データコンバータ(E)	6
4. 図面 DENKI 化ツール	6
II. インストール	7
1. インストールの前に	8
1. インストールの前に	8
2. インストールする製品の選択	8
3. ネットワークでの一元管理をされている場合	9
2. インストール	10
1. インストールする製品の選択	10
2. 旧バージョンの環境をバックアップ	11
3. ACAD-DENKI のインストール	11
4. 電キャビ のインストール	16
5. 図面 DENKI 化ツールのインストール	20
6. データコンバータ(E) のインストール (32bit 版のみ)	23
III. ネットワークインストーラ	27
1. 一元管理の概要	28
2. ネットワークインストーラの作成	30
1. 親機へのインストール	30
2. 場所の変更と構成の書き出し	30
3. 子機へのインストール	33

IV. スタンドアロンライセンス更新 (アクティベート)	35
1. 概要	36
2. ライセンス形式の設定 (クライアント)	37
1. ライセンスをアクティベート	37
2. ライセンスの更新	40
3. アクティベート解除	42

V. フローティングライセンス (FlexNet ライセンス管理サービス)	45
1. インストール(サーバー)	46
1. 動作環境	46
2. FlexNet ライセンス管理サービスのインストール(更新)	47
2. ライセンスファイルの更新とサービスの起動	51
1. ライセンスファイルのコピー	51
2. LMTOOLS の実行	51
3. Config Services の設定	51
4. サービスの設定値の保存	51
5. サービスの開始	52
6. 動作確認	52
7. ライセンスモニタによる確認	52

VI. 付録	53
1. 各製品とオプションの起動確認	54
1. ACAD-DENKI の起動	54
2. ACAD-Net の起動	54
3. ACAD-Parts の起動	55
4. ACAD-IO の起動	55
5. EL オプションの起動	55
6. ホットマーカーリンクの起動	55
7. 電キャビの起動	56
8. データコンバータ(E)の起動	56
9. 図面 DENKI 化ツールの起動	57
2. Windows 8 での起動方法	58

I. 概要

1. 各製品の動作環境

インストーラ(メディア)には、32bit 版と 64bit 版の両方が含まれています。

Setup.exe を実行されますと OS の bit に合わせたものがインストールされます。

64bitOS 上に 32bit 版の ベース CAD (AutoCAD/BricsCAD) をインストールしてご使用される場合は 32bit 版のインストーラ” Setup32.exe” を手動で実行してください。

(ご注意)

32bitOS 上に 64bit 版の製品をインストールすることはできません。

1. ACAD-DENKI

「ACAD-DENKI」は ベース CAD となる AutoCAD、または BricsCAD に対応したアドオンソフトです。

従って、ベース CAD が快適に動作する環境が必要です。

詳細は、ベース CAD の推奨動作環境をご確認ください。

AutoCAD、BricsCAD、他製品は別途、ご購入ください。

ACAD-DENKI 対応 CAD :

- 5. 対応 CAD ・ OS (共通) をご参照ください。

対応 OS :

- 5. 対応 CAD ・ OS (共通) をご参照ください。

本ソフトをインストールするために必要なディスクの空き容量は以下のとおりです。

ディスク空き容量 : 500MB 以上 (システムディスクは 300MB 以上)

2. 電キャビ

「電キャビ」は ACAD-DENKI などで作成する図面を管理するソフトです。

ACAD-DENKI と併せてご利用ください。

本ソフトをインストールするために必要なディスクの空き容量は以下のとおりです。

ディスク空き容量 : 300MB 以上 (システムディスクは 200MB 以上)

3. データコンバータ(E)

データコンバータ (E) は 32bit 版の AutoCAD のアドオンソフトです。

従って、AutoCAD が快適に動作する環境が必要です。

詳細は、AutoCAD の推奨動作環境をご確認ください。AutoCAD は別途、ご購入ください。

データコンバータ (E) 対応 CAD :

- 5. 対応 CAD ・ OS (共通) をご参照ください。

(注) 対応 CAD は 32bit 版の AutoCAD のみです。

対応 OS :

- 5. 対応 CAD ・ OS (共通) をご参照ください。

(注)本ソフトをインストールするために必要なディスクの空き容量は以下の通りです。
ディスク空き容量：200MB 以上（システムディスクは 100MB 以上）

4. 図面 DENKI 化ツール

図面 DENKI 化ツールは BricsCAD のアドオンソフトです。
従って、BricsCAD が快適に動作する環境が必要です。
詳細は、BricsCAD の推奨動作環境をご確認ください。

図面 DENKI 化ツール対応 CAD：

5. 対応 CAD・OS（共通） をご参照ください。

(注) 対応 CAD は BricsCAD のみです。

対応 OS：

5. 対応 CAD・OS（共通） をご参照ください。

(注)本ソフトをインストールするために必要なディスクの空き容量は以下の通りです。
ディスク空き容量：200MB 以上（システムディスクは 100MB 以上）

5. 対応 CAD・OS(共通)

対応 AutoCAD：

AutoCAD 2017/2018/2019

(注) AutoCAD LT シリーズは、オートデスク社の方針により対応しておりません。

対応 BricsCAD：

BricsCAD V17、V18（V19 リリース後 差分パッチにて対応予定）の 32bit/64bit

(注) BricsCAD は弊社からご案内させていただくバージョンが必要です。

対応 OS：

各製品が使用するベース CAD が動作保証している OS に限ります。

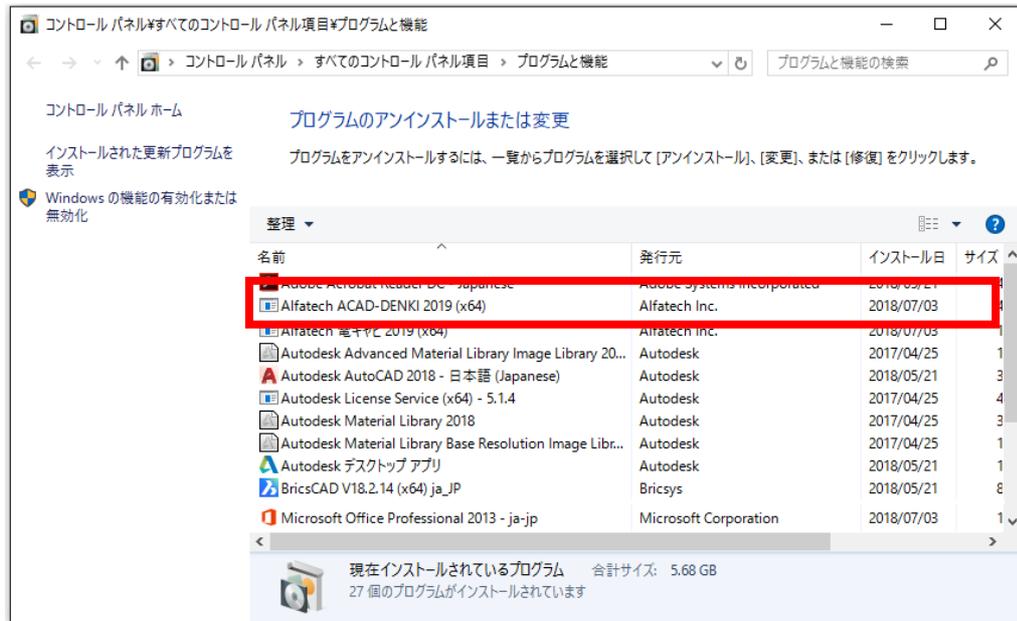
Windows10、Windows 8/8.1、Windows 7 SP1

(注) Windows Vista、Windows XP は除きます。

bit につきましては対応ベース CAD に依存します。

2. 製品構成

1. ACAD-DENKI



プログラムの名前は以下のとおりです。

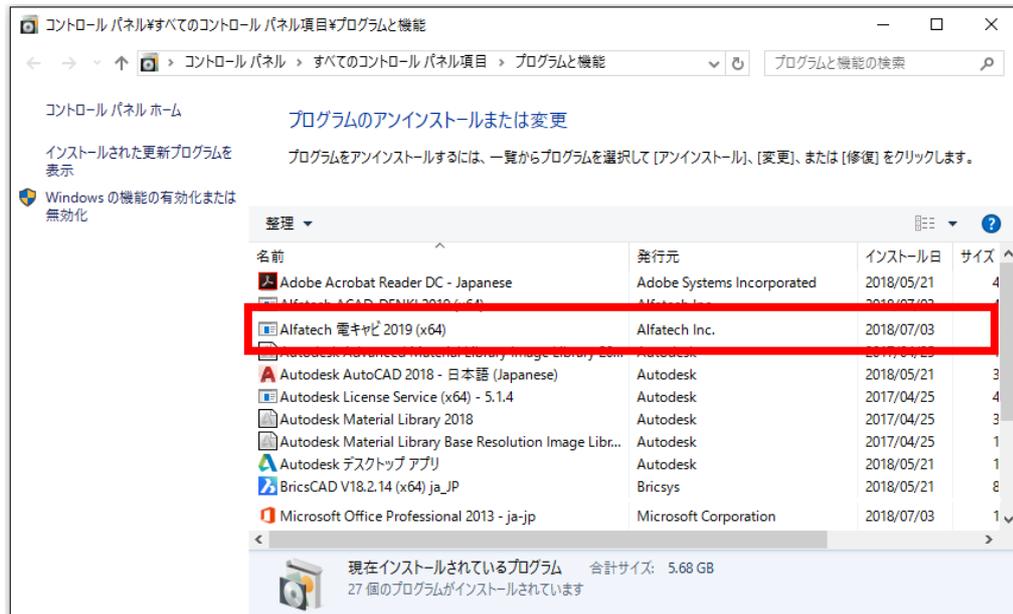
32bit 版: Alfatech ACAD-DENKI 2019

64bit 版: Alfatech ACAD-DENKI 2019 (x64)

「ACAD-DENKI」には、以下の製品をオプションとしてインストール時に含めることができます。

- ACAD-Parts … 部品処理
- ACAD-HMLINK … ホットマーカリンク
- ACAD-IO … IO 自動作図
- ACAD-ELOP … EL オプション(電子回路オプション)

2. 電キャビ



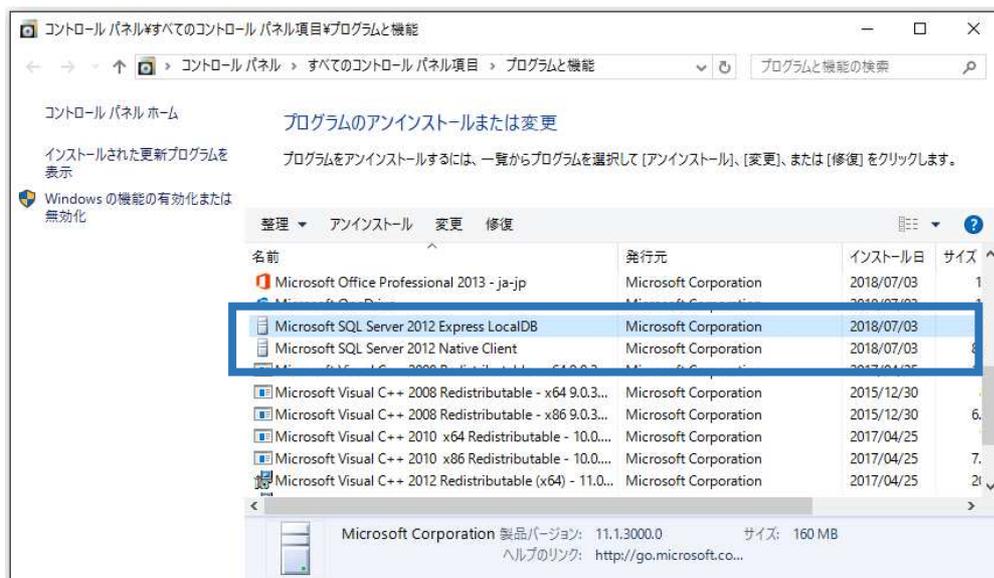
プログラムの名前は以下のとおりです。

32bit 版: Alfatech 電キャビ 2019

64bit 版: Alfatech 電キャビ 2019 (x64)

電キャビのマイデータベースをインストールした場合、以下の 2 つのプログラムが登録されます。

「Microsoft SQL Server 2012 Express LocalDB」、「Microsoft SQL Server 2012 Native Client」、マイデータベースをアンインストールする場合、「Microsoft SQL Server 2012 Express LocalDB」、「Microsoft SQL Server 2012 Native Client」のそれぞれをアンインストールしてください。



バージョンアップの場合、通常はバージョンアップ前にインストールされている「Microsoft SQL Server 20** Express LocalDB」、「Microsoft SQL Server 20** Native Client」となります。

3. データコンバータ(E)

プログラムの名前は以下のとおりです。

32bit 版: Alfatech データコンバータ(E)

※ 32bit 版の AutoCAD 専用です。

4. 図面 DENKI 化ツール

プログラムの名前は以下のとおりです。

32bit 版: Alfatech 図面 DENKI 化ツール 2019

64bit 版: Alfatech 図面 DENKI 化ツール 2019 (x64)

※ BricsCAD 専用です。

II. インストール

インストールについて説明します。

1. インストールの前に

1. インストールの前に

Administrator または管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。

本ソフトをインストールする前に、使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。また、ウイルス チェック プログラムなどの常駐プログラムが稼働している場合は、必ず終了させてから本ソフトのインストールを行ってください。

☞ インストーラを実行する前に、すべてのプログラムを必ず終了してください。

ACAD-DENKI のバージョンアップ版をご購入いただきました場合でも、インストール対象 PC に旧バージョンがインストールされている必要はございません。

1 枚のメディアで、新規インストール、バージョンアップインストールが可能です。

増設、端末変更により旧バージョンがインストールされていない PC につきましても、本バージョンのメディアをご使用ください。

その後、最新の差分パッチのインストールを実施してください。

2. インストールする製品の選択

インストールメディアである DVD には、32bit 版と 64bit 版の両方が含まれています。

インストールメディアを DVD ドライブに挿入すると、OS が 32bit か 64bit かを確認し、自動的に該当インストーラを起動し、製品の選択画面を表示します。

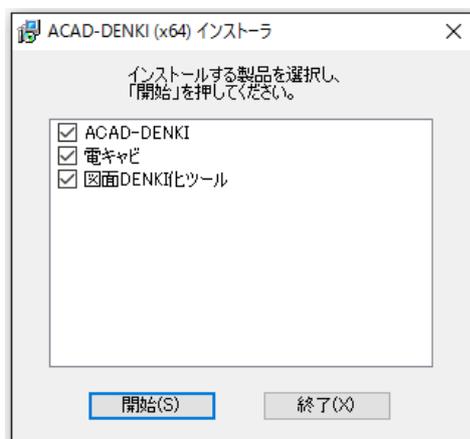
自動的に起動しないときは、エクスプローラ等で DVD 内の Setup.exe をダブルクリックして起動してください。

また、64bitOS 上で使用するベース CAD が 32bit の場合、32bit 版のインストーラを実行していただく必要があります。

その場合、起動したインストーラを終了し、DVD 内の Setup32.exe をダブルクリックして起動してください。

本 DVD でインストールできる製品は以下の通りです。

※下図は 64bit 版です。64bit 版には“データコンバータ (E)” は含まれていません。

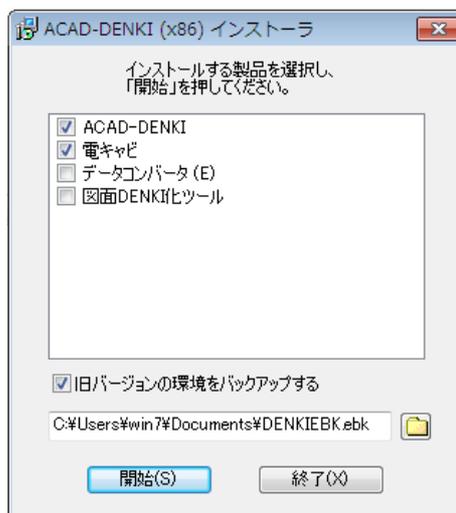


ご購入いただいた製品を確認の上、インストールする製品にチェックを入力してください。

ご購入製品以外のものをインストールしても、ライセンスが無ければご利用できません。
インストール手順は「2. インストール」からの該当製品をご参考にしてください。

(ご注意)

インストーラを実行した PC に既に図研アルファテック製品がインストールされている場合、インストールされている製品のみチェックが入力された状態で起動します。(下図は 32bit 版インストーラの例)



既に図研アルファテック製品がインストールされている場合、「旧バージョンの環境をバックアップする」項目が表示されます。

デフォルト：チェック有

3. ネットワークでの一元管理をされている場合

フローティングライセンス(ネットワーク版ライセンス)や、「場所の確認と一括変更」のパスの設定箇所をネットワークでの一元管理を行う場合、ネットワークインストーラを作成されますことをお勧めします。ネットワークインストーラを作成し、個々のクライアントでネットワークインストーラを実行することで、クライアントの設定を個々に手動で行う必要がなくなります。

ネットワークインストーラを作成される場合は、2 台目以降の端末では本インストール作業は不要です。次章(III ネットワークインストーラ)をご参照ください。

2. インストール

以下の説明にしたがって本ソフトをインストールしてください。

1. インストールする製品の選択

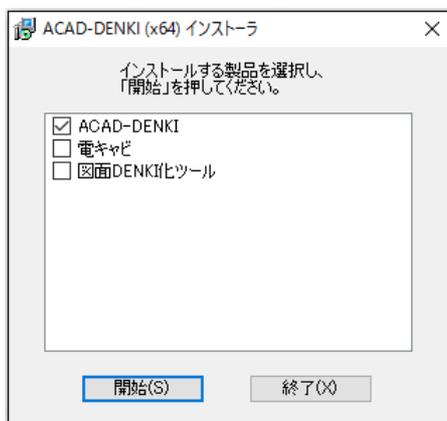
インストールメディアをDVDドライブに挿入すると、自動的にインストーラが起動し、製品の選択画面を表示します。

自動的に起動しないときは、エクスプローラ等でDVD内のSetup.exeをダブルクリックして起動してください。

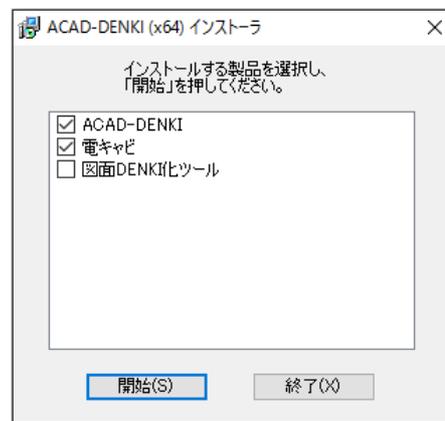
購入された製品名にチェックを入れ、**【開始(S)】**ボタンをクリックしインストールを行います。

チェックを入力した製品のインストーラが上から順番に実行されます。

ACAD-DENKI 作図パックを購入された場合



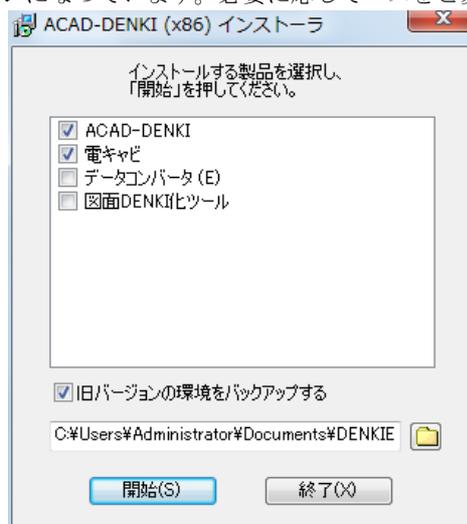
ACAD-DENKI 標準パック、フルパックを購入された場合



バージョンアップの場合、インストール済み製品にチェックが入った状態で表示されます。

また、既存(旧バージョン)の設定環境のバックアップを行う為の設定が表示されます。

デフォルトはチェックオンになっています。必要に応じてパスをご変更ください。

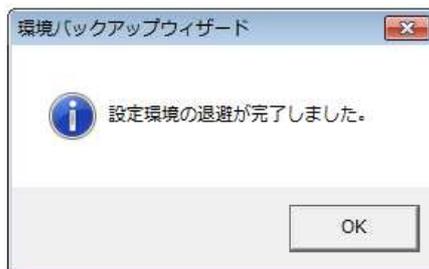


2. 旧バージョンの環境をバックアップ

「旧バージョンの環境をバックアップする」にチェックを入力して[開始(S)]した場合、先に環境のバックアップが実行されます。

「旧バージョンの環境をバックアップする」のチェックを未入力にされた場合は、本項をスキップしてください。

下記のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックして終了します。



続いて、インストールする製品にチェックを入力した製品のインストーラが起動します。

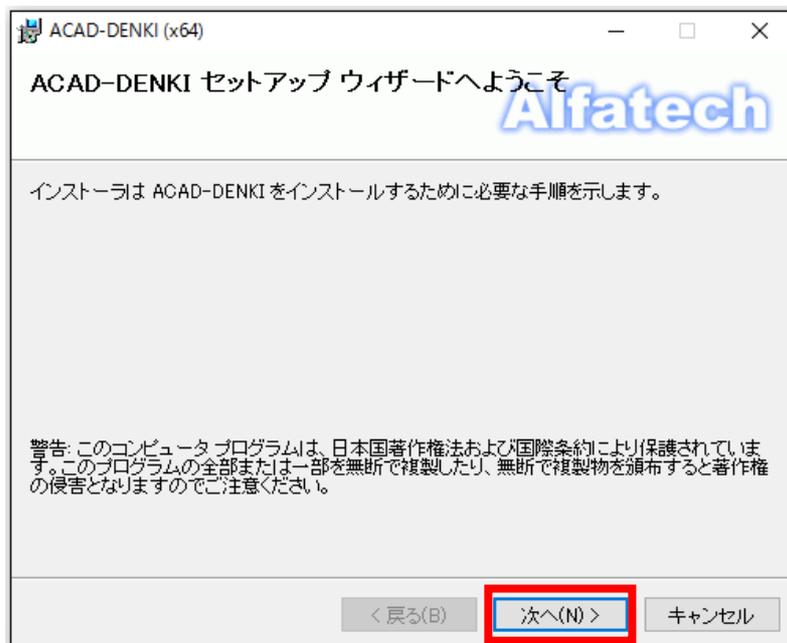
環境のバックアップの復元については、DVD内の ¥MISC¥DENKIEBK 以下のツールをご利用ください。

3. ACAD-DENKI のインストール

1. インストールする製品の選択で、ACAD-DENKI にチェックを入力していない場合は、本項をスキップしてください。

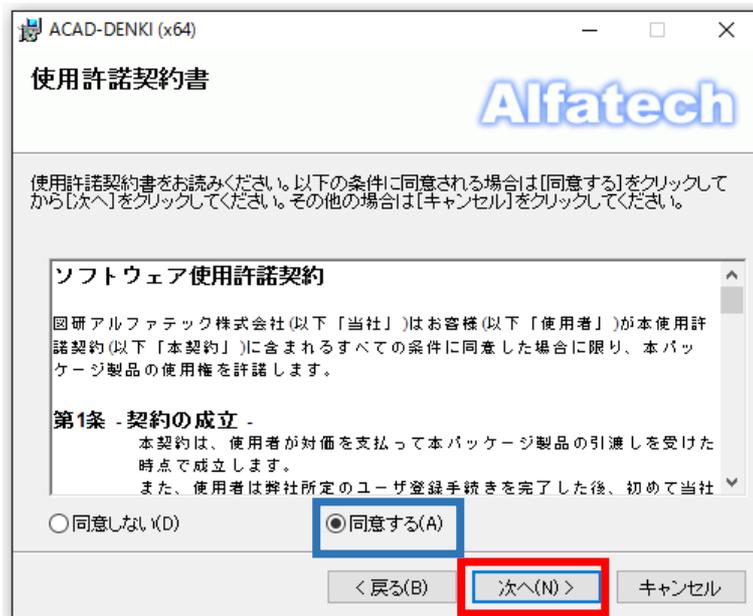
1) インストーラの起動

ACAD-DENKI のインストーラが起動すると以下のウィンドウが表示されますので、**[次へ(N)>]** ボタンをクリックします



2) 使用許諾契約

本ソフトをご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。ソフトウェア使用許諾契約を注意深くお読みください。



すべての条項に同意いただける場合は **[同意する(A)]** を選択し、**[次へ(N) >]** ボタンをクリックします。

(注) バージョンアップの場合、[7]. デスクトップのアイコン] 以降をご参照ください。

3) ユーザー情報の入力

ユーザー情報を入力してください。



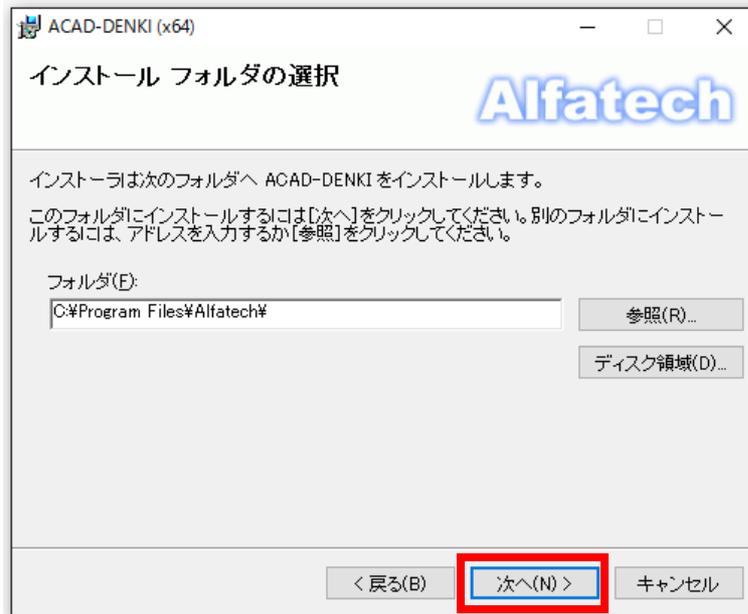
※バージョンアップの場合、本画面は表示されません。既存の情報を引き継ぎます。

すべて正しく入力したら、**[次へ(N) >]** ボタンをクリックします。

4) インストールするフォルダの選択

図研アルファテック 製品をインストールするフォルダを選択してください。

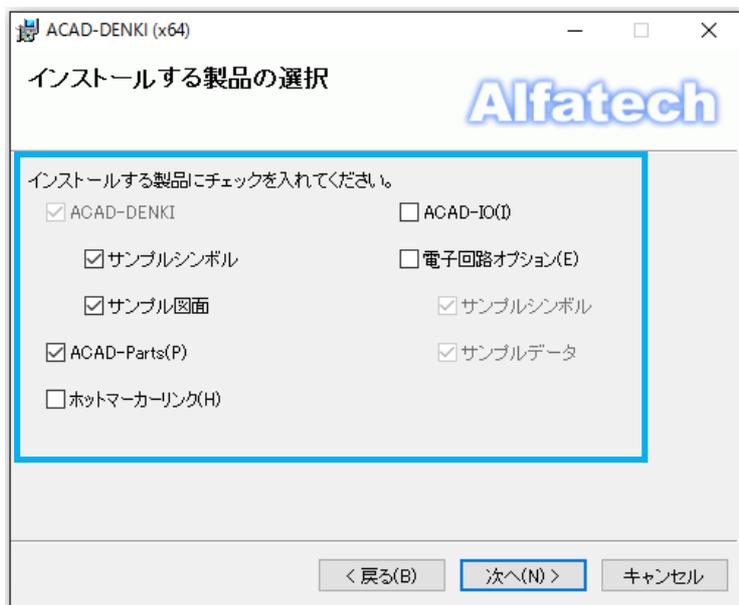
※バージョンアップの場合、本画面は表示されません。既存の情報を引き継ぎます。



インストールするフォルダを選択し、[次へ(N) >] ボタンをクリックします。

5) インストールする製品の選択

インストールする「ACAD-DENKI」のオプション製品を選択してください。



※バージョンアップの場合、本画面は表示されません。既存の情報を引き継ぎます。

同梱の「使用者契約同意書(ユーザ登録書)」にある製品名の欄に記入されているチェックマークをご確認いただき、それに対応するものを選択してください。

ご購入製品以外の製品をインストールしても、ライセンスが無ければご利用いただけません。

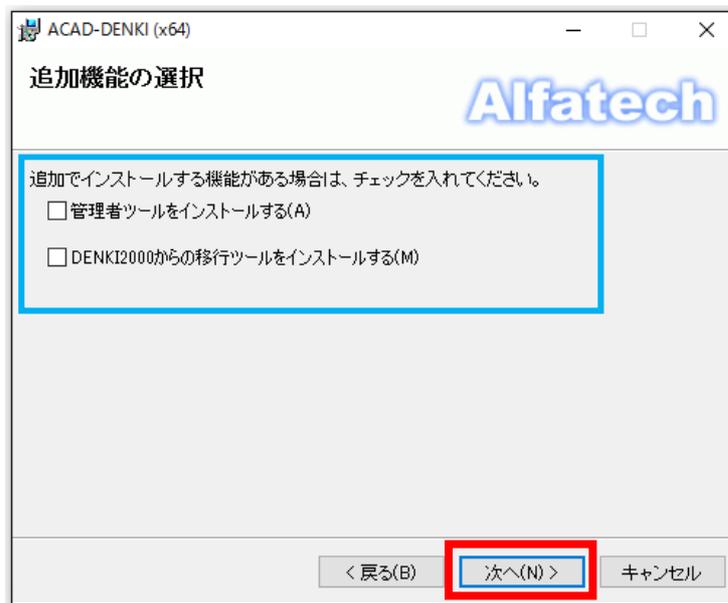
インストールする製品を選択したら【次へ(N)>】ボタンをクリックします。

(補足)

- ACAD-Parts … 部品処理
- ACAD-HMLINK … ホットマーカーリンク
- ACAD-IO … IO 自動作図
- ACAD-ELOP … EL オプション(電子回路オプション)

6) 追加機能の選択

※バージョンアップの場合、本画面は表示されません。既存の情報を引き継ぎます。

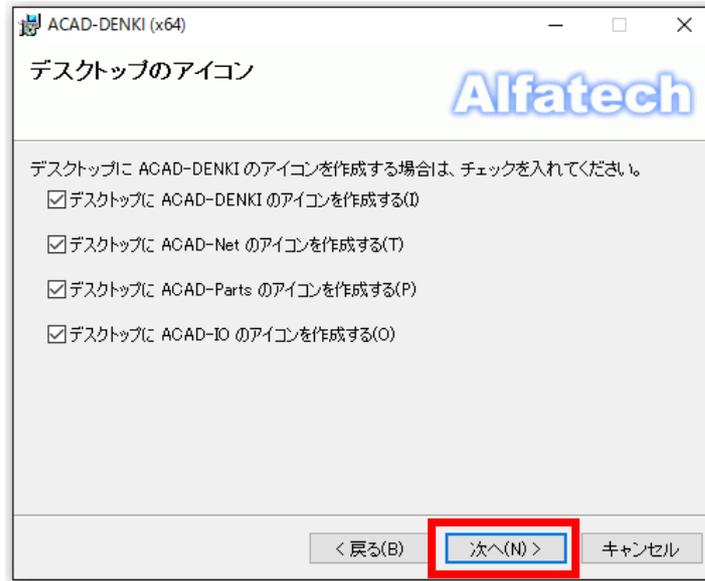


追加インストールする機能を確認の上、【次へ(N)>】ボタンをクリックします。

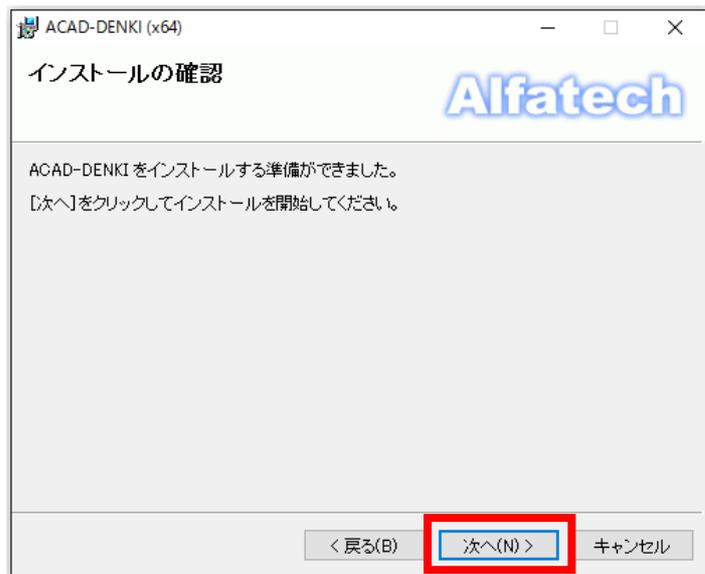
7) デスクトップのアイコン

デスクトップにアイコンを作成するかを確認の上、**[次へ(N)>]** ボタンをクリックします。

(注) インストールしない製品のアイコンは作成されませんので、通常は変更する必要はありません。

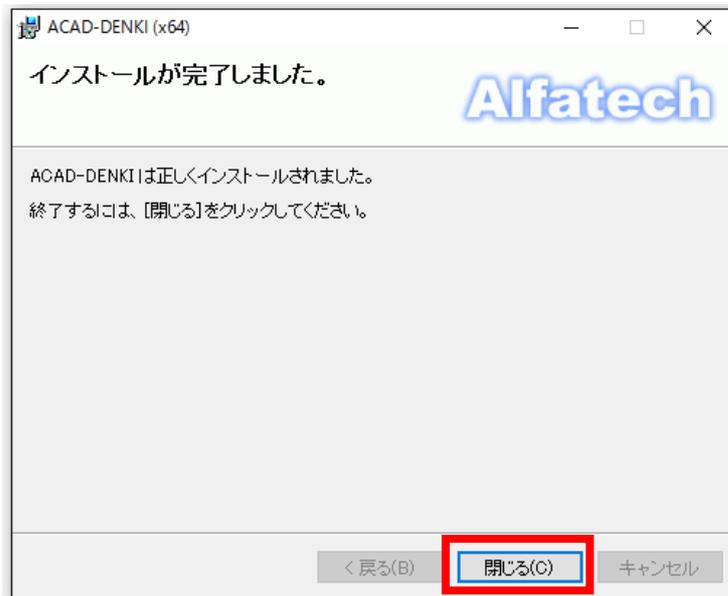


8) インストールの確認



[次へ(N)>] ボタンをクリックすると、インストールが始まります。

9) インストールの完了



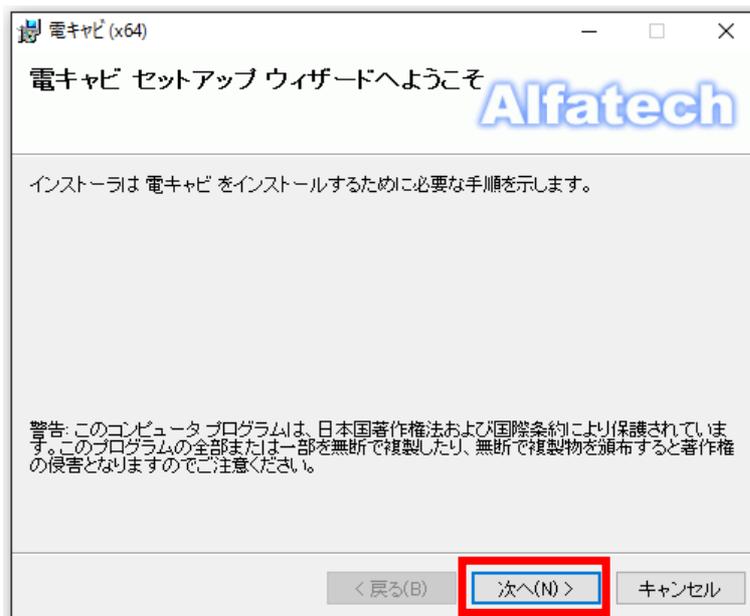
ACAD-DENKI のインストールは完了です。

[閉じる(c)] ボタンをクリックし、インストーラを終了します。

4. 電キャビ のインストール

1. インストールする製品の選択で、電キャビにチェックを入力していない場合は、本項をスキップしてください。

1) インストーラの起動



電キャビのインストーラが起動すると以下のウィンドウが表示されますので、**[次へ(N) >]** ボタンをクリックします。

2) 使用許諾契約

本ソフトをご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。ソフトウェア使用許諾契約を注意深くお読みください。



すべての条項に同意いただける場合は **[同意する (A)]** を選択し、**[次へ(N)]** ボタンをクリックします。

(注) バージョンアップの場合、[5] デスクトップのアイコン] 以降をご参照ください。

3) インストールするフォルダの選択

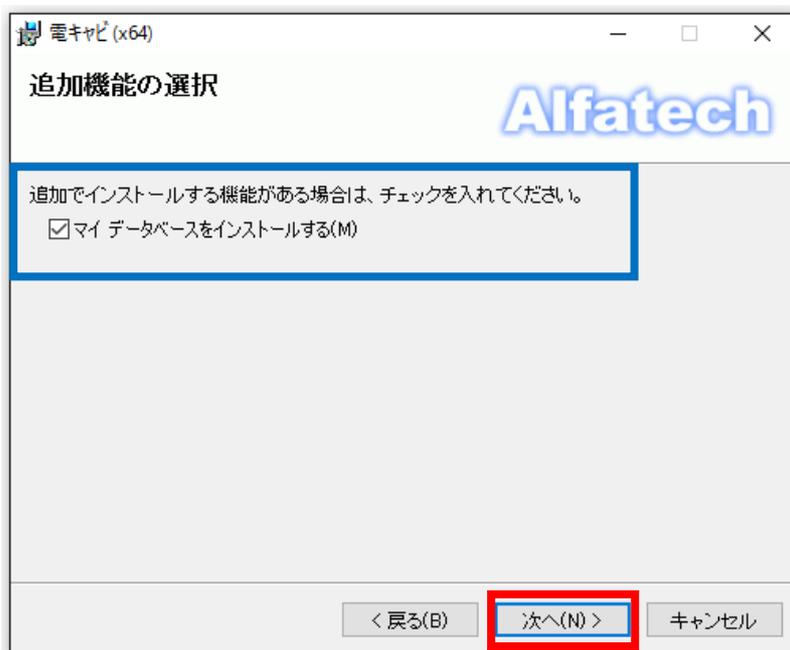
図研アルファテック 製品をインストールするフォルダを選択してください。

(注)通常は先に ACAD-DENKI などの図研アルファテック製品をインストールしますので、「インストールフォルダの選択」は表示されません。[4] 追加機能の選択] 以降をご参照ください。

電キャビのみをインストールされた場合はインストールするフォルダを選択し、**[次へ(N)]** ボタンをクリックします。

4) 追加機能の選択

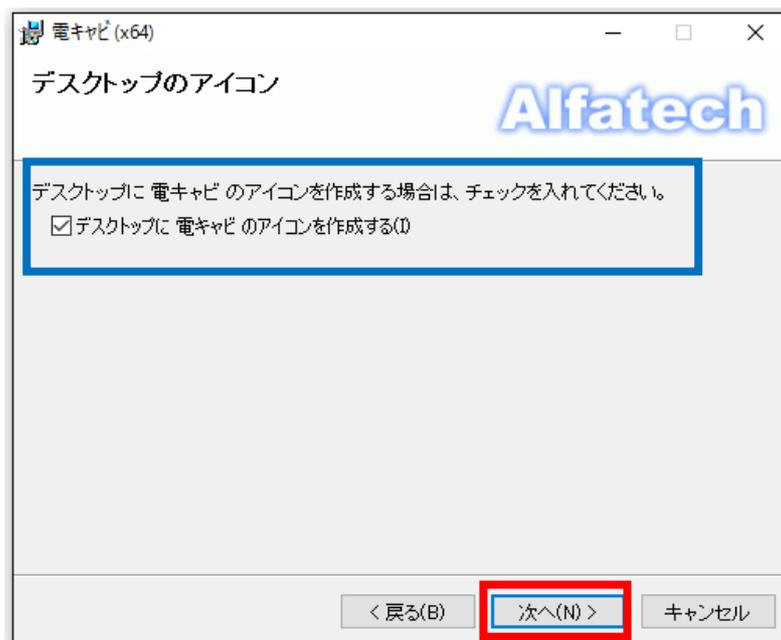
※バージョンアップの場合、本画面は表示されません。既存の情報を引き継ぎます。



追加インストールする機能を確認の上、**[次へ (N) >]** ボタンをクリックします。

5) デスクトップのアイコン

※バージョンアップの場合、本画面は表示されません。既存の情報を引き継ぎます。



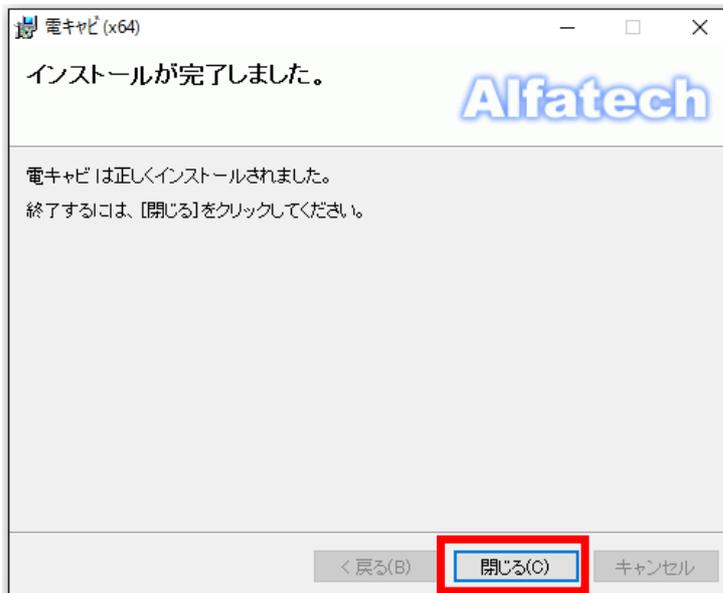
デスクトップにアイコンを作成するかを確認の上、**[次へ (N) >]** ボタンをクリックします。

6) インストールの確認



[次へ (N) >] ボタンをクリックすると、インストールが始まります。

7) インストールの完了



電キャビのインストールは完了です。

[閉じる (C)] ボタンをクリックし、電キャビのインストーラを終了します。

[4] 追加機能の選択] で 「マイデータベースをインストールする」 にチェックを付けた場合、マイデータベース用ソフトのインストーラが起動します。

バージョンアップの場合は、既存のマイデータベースを引き継ぎますのでインストールされません。

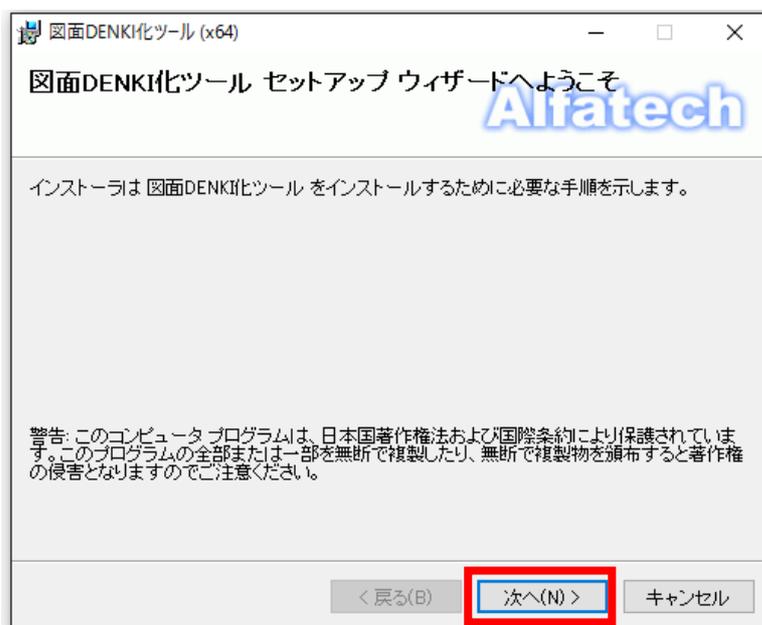
なお、コンピュータの状態によっては再起動を促す画面が表示されることがあります。このときは必ず OS を再起動してください。

5. 図面 DENKI 化ツールのインストール

1. インストールする製品の選択で、「図面 DENKI 化ツール」 にチェックを付けていない場合は、以降の作業は必要ありません。

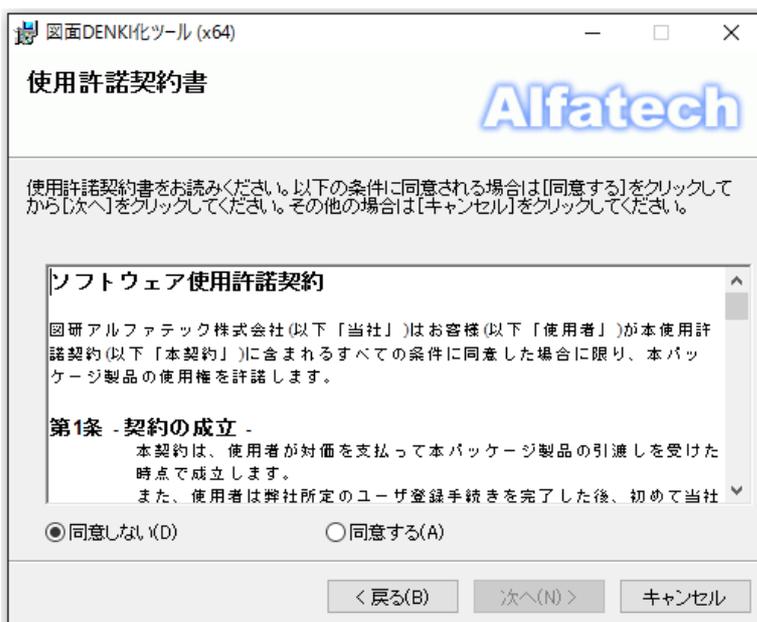
1) インストーラの起動

図面 DENKI 化ツールのインストーラが起動すると以下のウィンドウが表示されますので、**[次へ(N)>]** ボタンをクリックします。



2) 図面 DENKI 化ツール 使用許諾契約

本ソフトをご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。ソフトウェア使用許諾契約を注意深くお読みください。



すべての条項に同意いただける場合は **[同意する(A)]** を選択し、**[次へ(N)>]** ボタンをクリックします。



(注) バージョンアップの場合、[4] インストールの確認] 以降をご参照ください。

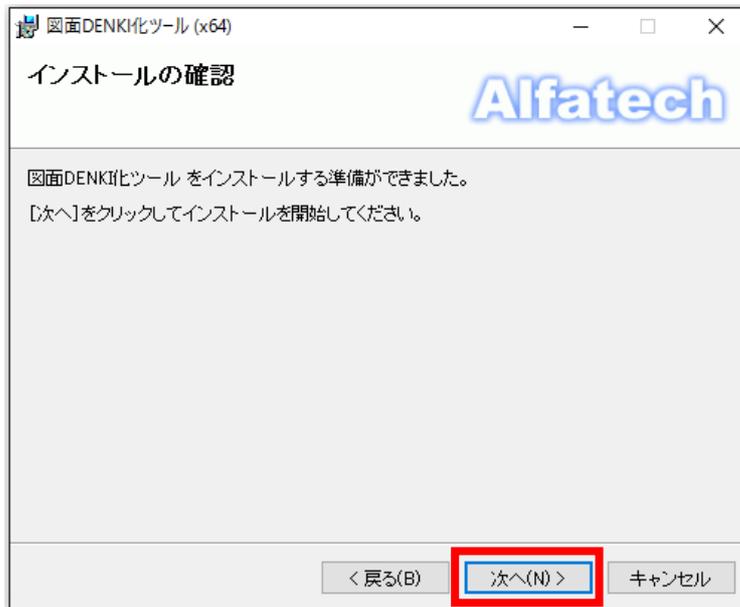
3) インストールするフォルダの選択

図研アルファテック 製品をインストールするフォルダを選択してください。

(注)通常は先に ACAD-DENKI などの図研アルファテック製品をインストールされますので、「インストールフォルダの選択」は表示されません。[4] インストールの確認] 以降をご参照ください。

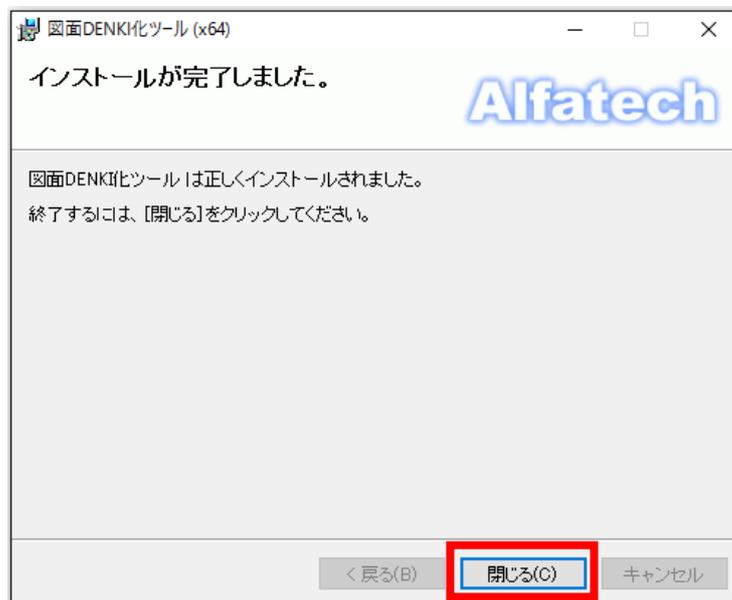
単体でインストールされた場合はインストールするフォルダを確認し、**[次へ(N)>]** ボタンをクリックします。

4) インストールの確認



[次へ(N) >] ボタンをクリックすると、インストールが始まります。

5) インストールの完了



図面 DENKI 化ツールのインストールは完了です。

[閉じる(c)] ボタンをクリックし、インストーラを終了します。

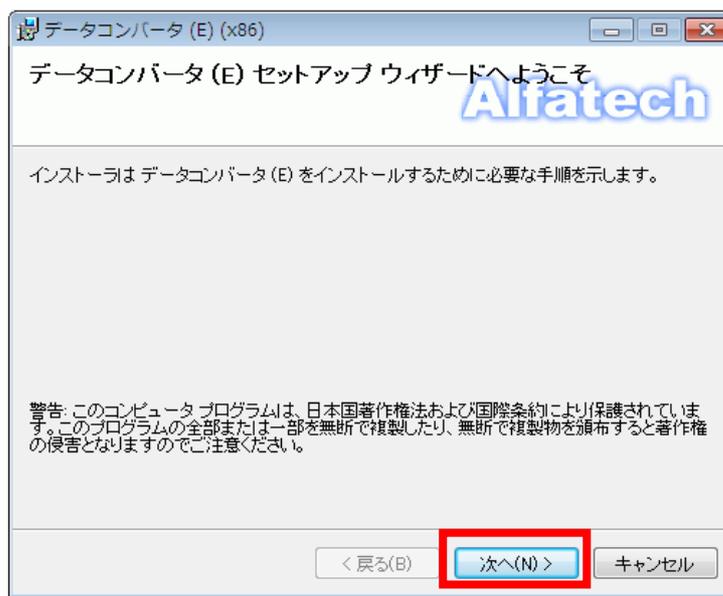
これでインストール作業は終了です。

6. データコンバータ(E) のインストール(32bit 版のみ)

1. インストールする製品の選択で、「データコンバータ(E)」 にチェックを付けていない場合は、以降の作業は必要ありません。

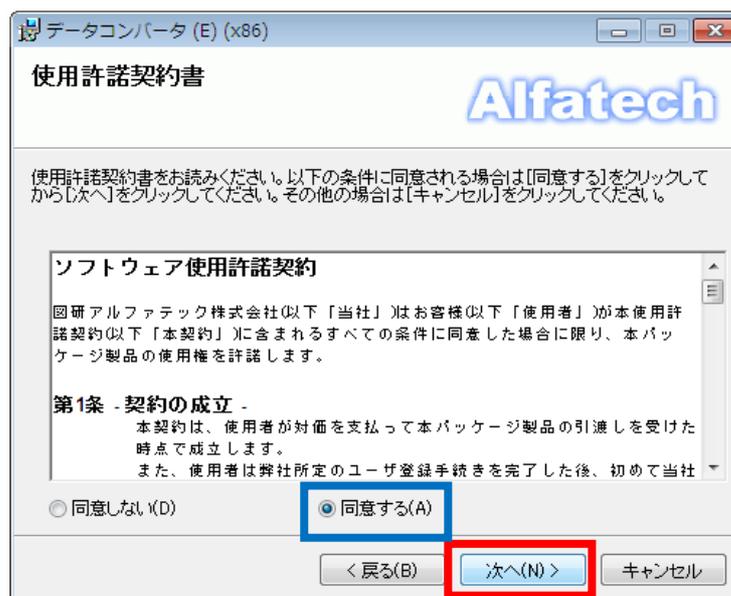
1) インストーラの起動

データコンバータ(E)のインストーラが起動すると以下のウィンドウが表示されますので、**[次へ(N)>]** ボタンをクリックします。



2) データコンバータ(E) 使用許諾契約

本ソフトをご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。ソフトウェア使用許諾契約を注意深くお読みください。



すべての条項に同意いただける場合は**[同意する(A)]**を選択し、**[次へ(N)>]** ボタンをクリックします。

(注) バージョンアップの場合、[5] デスクトップのアイコン] 以降をご参照ください。

3) インストールするフォルダの選択

図研アルファテック 製品をインストールするフォルダを選択してください。

(注)通常は先に ACAD-DENKI などの図研アルファテック製品をインストールされますので、「インストールフォルダの選択」は表示されません。[4] デスクトップのアイコン] 以降をご参照ください。

単体でインストールされました場合はインストールするフォルダを確認し、**[次へ(N)>]** ボタンをクリックします。

4) デスクトップのアイコン

※バージョンアップの場合、本画面は表示されません。既存の情報を引き継ぎます。

デスクトップにアイコンを作成するかを確認の上、**[次へ(N)>]** ボタンをクリックします。

5) インストールの確認



[次へ(N)>] ボタンをクリックすると、インストールが始まります。

6) インストールの完了



データコンバータ(E)のインストールは完了です。

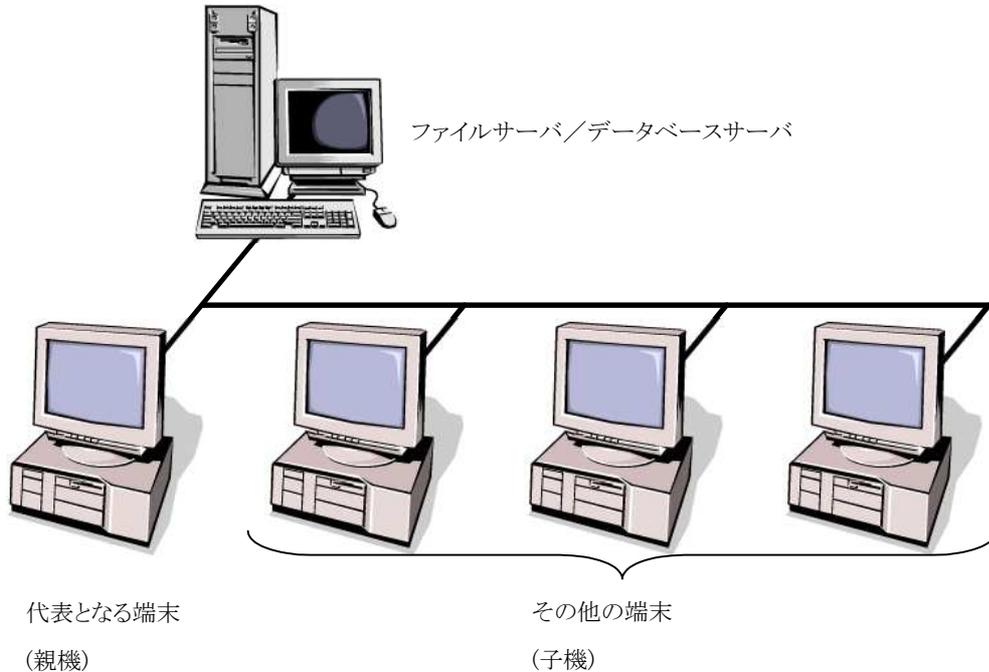
[閉じる(c)] ボタンをクリックし、インストーラを終了します。これでインストール作業は終了です。

<<このページは白紙です>>

III. ネットワークインストーラ

1. 一元管理の概要

各種データをネットワーク上の共有フォルダに保管され、同じ環境を共有されている場合、環境・データを一元管理されていることになります。



ファイルサーバ/データベースサーバの動作環境
OS

Windows 7 SP1 ^(※2)

Windows Server 2008 (R2 を含む) ^{(※2) (※4)}

Windows 8/8.1 ^(※3)

Windows 10 ^{(※4) (※5)}

Windows Server 2012 (R2 を含む) ^{(※3) (※4) (※5)}

Windows Server 2016 ^(※5)

ネットワーク インターフェース カード(NIC)必須
プロトコル

TCP/IP ^(※1)

^(※1)

OS が Server Edition でない場合はネットワークの接続数が制限されています。1 台のサーバーにアクセスするコンピュータの数が多い場合はご注意ください。なお、Server Edition の OS にはこの制限はありません。

^(※2)

対応する SQL Server は、SQL Server 2005 SP3 以上となります。

^(※3)

対応する SQL Server は、SQL Server 2008 SP3 以上となります。

^(※4)

対応する SQL Server は、SQL Server 2012、2014、2016 となります。
(注: 対応 OS のサービスパックは別途、ご確認ください)

^(※5)

対応する SQL Server は、SQL Server 2014、2016、2017 となります。
(注: 対応 OS のサービスパックは別途、ご確認ください)

一元管理時のインストール手順は以下のとおりです。

1) ネットワークインストーラ作成先の確認

「場所の確認と一括変更」の設定パスを確認します。ファイルサーバなど共有フォルダなどが設定されています。

2) 親機へのインストール

代表となる端末(親機)に本ソフト(オプションソフトも含む)をインストールします。

(注)管理者ツールを使用する場合、親機に管理者ツールをインストールし、設定まで行ってください。

管理者ツールについては、別冊の「管理者向けマニュアル」をご参照ください。

3) 場所の変更と構成の書き出し

代表となる端末(親機)で場所の一括変更と構成の一括書き出しを行います。

書き出し操作でネットワークインストーラが作成されます。

4) 子機へのインストール

その他の端末(子機)でネットワークインストーラを実行し、本ソフト一式をインストールします。

ネットワークインストーラは親機が書き出した構成をもとに本ソフトのインストーラを実行し、自動的に親機の構成と同じ内容(インストール先情報も含む)で子機に本ソフトをインストールします。

2. ネットワークインストーラの作成

本項での説明は一元管理の構築を実施、運用されている環境でのバージョンアップの説明を目的としています。

新たに一元管理を構築されます場合は、先に ACAD-DENKI インストールガイドの「一元管理の構築手順」をご参考いただきまして、構築をお願いいたします。

ネットワークインストーラの作成は「場所の確認と一括変更」の設定が共有フォルダに設定されている必要があります。

1. 親機へのインストール

代表となる端末(親機)に本ソフト(オプションソフトも含む)を新規インストールまたはバージョンアップインストールを実施します。

新たにフローティングライセンスを利用する場合は、ライセンス形式の設定まで行ってください。

1) インストール

本ソフト(オプションソフトも含む)をインストールします。本ソフトのインストールに関しては前章[II インストール)をご参照ください。

2) ライセンス形式の設定

既にフローティングライセンスでご使用の場合、本設定は不要です。

新たにフローティングライセンスを利用する場合はライセンス形式の設定を行ってください。

2. 場所の変更と構成の書き出し

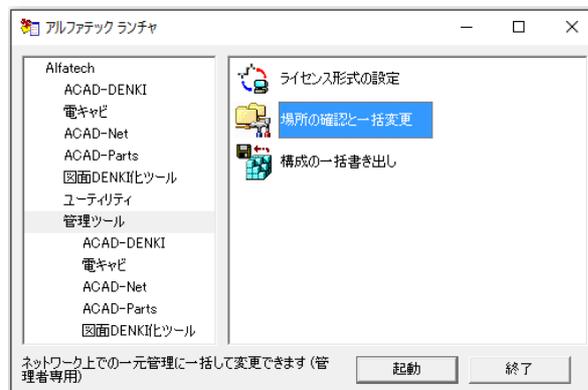
親機へのインストール後、場所の一括変更と構成の一括書き出しを行います。

1) 場所の確認と一括変更の起動

スタートメニューから管理ツールに含まれる「場所の確認と一括変更」を起動します。

Windows10:

「スタート」-「すべてのアプリ」-「A」-「Alfatech」-「アルファテックランチャー」から Alfatech - 管理ツール - 場所の確認と一括変更を選択して起動します。



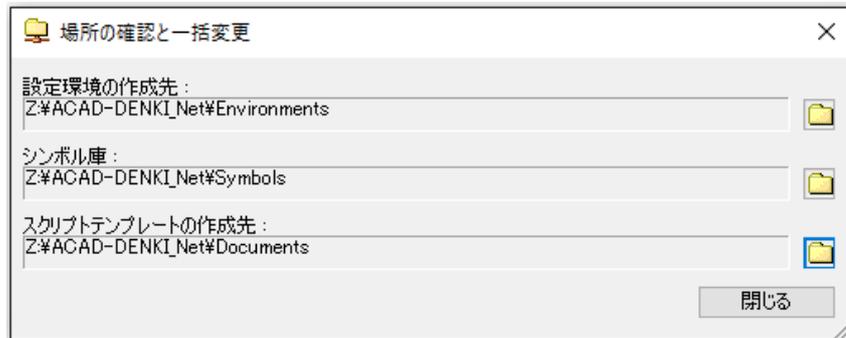
Windows7:

「スタート」-「すべてのプログラム」-「Alfatech」-「管理ツール」-「場所の確認と一括変更」を選択します。

2) 場所の一括変更の確認

「場所の確認と一括変更」ダイアログが表示されます。

本例では、サーバの共有フォルダを Z:¥ドライブに割り付け、Z:¥以下のフォルダをそれぞれの場所に設定している例です。



ネットワークインストーラの作成先は、「設定環境の作成先」に指定されておりますフォルダ以下になります。

ここでは作成先の確認のみです。確認後[閉じる]ボタンをクリックします。

(ご注意)

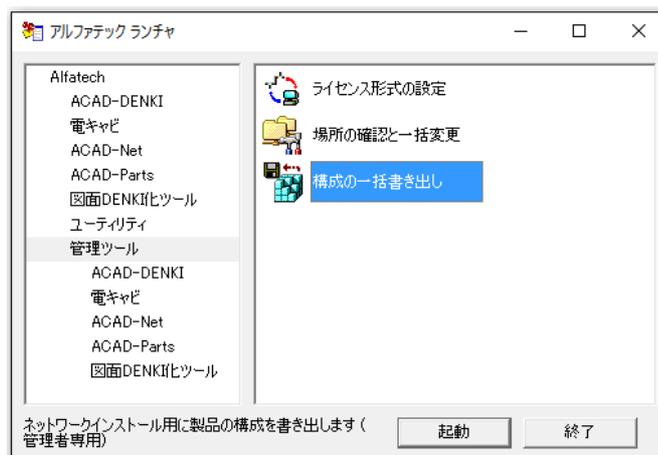
管理ツールの製品ごとにある「場所の確認と変更」では、フォルダの場所の変更作業を行わないでください。

3) 構成の一括書き出しの起動

スタートメニューから管理ツールに含まれる「構成の一括書き出し」を起動します。

Windows10:

「スタート」-「すべてのアプリ」-「A」-「Alfatech」-「アルファテックランチャー」から Alfatech - 管理ツール - 構成の一括書き出しを選択して起動します。

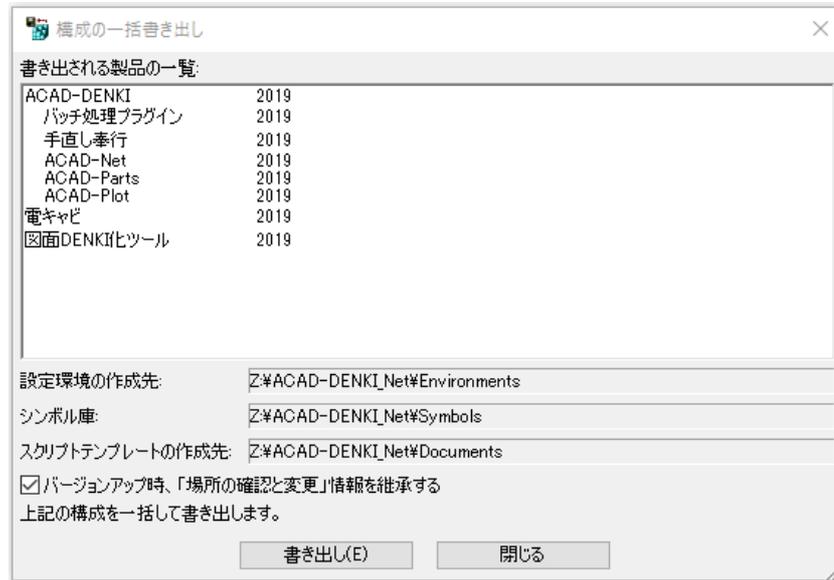


Windows7:

「スタート」-「すべてのプログラム」-「Alfatech」-「管理ツール」-「構成の一括書き出し」を選択します。

4) 構成の一括書き出し

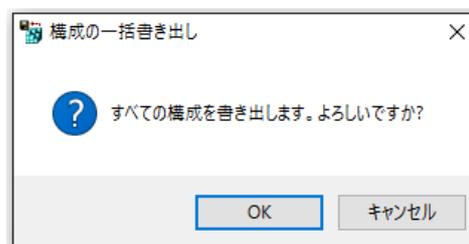
「構成の一括書き出し」ダイアログが表示されます。



「構成の一括書き出し」の [書き出し] ボタンをクリックします。

(注 1) 「構成の一括書き出し」ダイアログに表示されている「設定環境の作成先」、「シンボル庫」、「スクリプトテンプレートの作成先」のすべてのフォルダが、ネットワーク上のフォルダを表示してなければ実行されません。

(注 2) バージョンアップ時、「設定環境の作成先」などのフォルダ情報を、新しく書き出す情報で更新する場合、(例えば、今後割り付けドライブを変更するなどの可能性がある場合)「バージョンアップ時、「場所の確認と変更」情報を継承する」のチェックを外してから [書き出し] を行ってください。



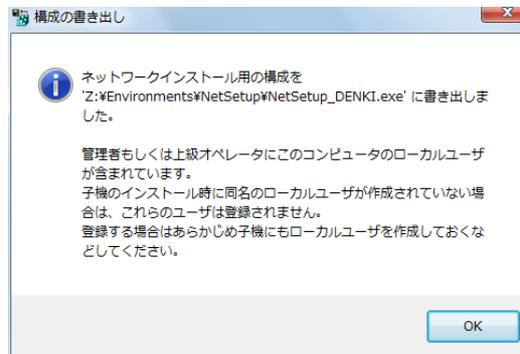
(注) インストールメディアから構成の書き出しに必要なモジュールをコピーしますので、DVDドライブに本ソフトのメディアをセットしておいてください。

(注) 複数枚のメディアにてインストールされている場合、構成の書き出しに必要なメディアを要求するメッセージが表示されますので、指示に従ってください。



構成の書き出しが完了すると、上記メッセージボックスが表示されます。[OK]をクリックします。
子機ではこのファイルを実行し、本ソフトをネットワークインストールします。

(注) **管理者ツール**をインストール、設定している場合は、下記のようなメッセージボックスが表示されます。

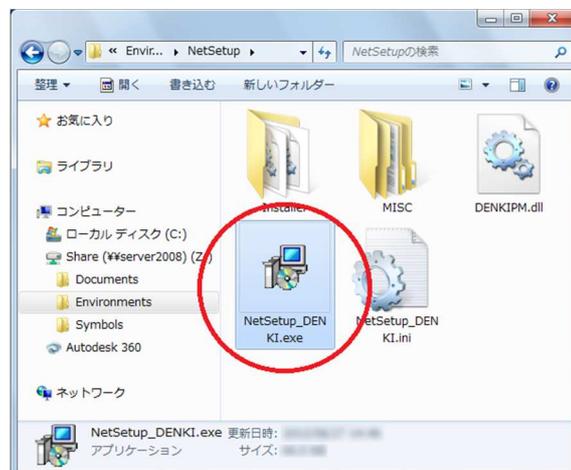


構成の書き出し完了後、「構成の一括書き出し」ダイアログの [閉じる] ボタンをクリックして終了します。

3. 子機へのインストール

親機で書き出された構成で、その他の端末(子機)に本ソフトをインストールします。

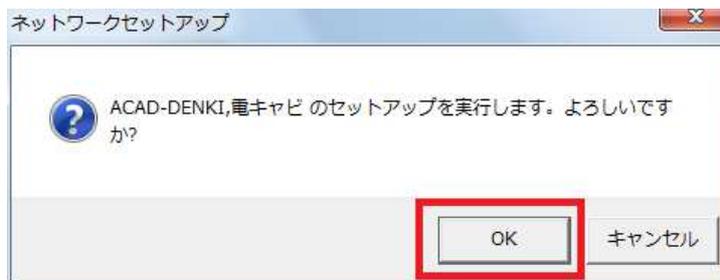
エクスプローラ等で親機から書き出された NetSetup_DENKI.exe をダブルクリックしてネットワークインストーラを起動します。



“セキュリティの警告”の確認メッセージが表示されることがあります。
この場合、[実行]ボタンをクリックします。



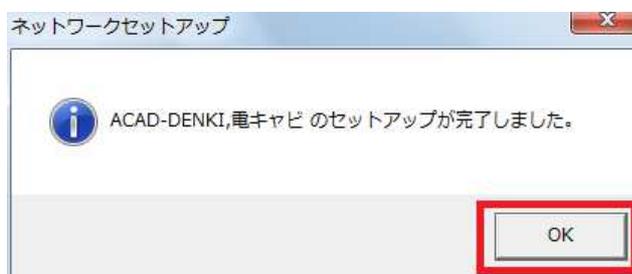
[OK] ボタンをクリックし、セットアップを開始します。



インストーラが正しく認識されると本ソフトのインストールが行われます。



インストールが終了するとメッセージが表示されます。



[OK] ボタンをクリックしてインストーラを終了してください。

IV. スタンドアロンライセンス更新 (アクティベート)

1. 概要

スタンドアロンライセンスで購入された方は、必ず、「ライセンス形式の設定」から、新バージョンへのアクティベートの更新作業が必要となります。

新規端末にインストールされます場合は、既存 PC にてアクティベート解除を実行後に新規端末にてアクティベートの実行を行ってください。

アクティベートファイルは、以前のバージョンで提供されておりますファイルをご使用いただけます。

アクティベートファイル(*.acf ファイル)、ライセンスメディア(*.acf アクティベートファイルご提供メディア)がお手元に見つからない場合は、弊社サポートまでご連絡ください。

アクティベートファイル(*.acf ファイル)の再発行手続きを行わせて頂きます。

※ アクティベートファイルは、E-Mail による添付ファイルでご提供する場合があります。

(ご注意)

アクティベートは、必ず、インターネットに接続できる環境で行って頂く必要があります。インターネットにつながっていない場合、アクティベートはできません。

体験版で図研アルファテック製品を使う場合も、必ずアクティベートの作業が必要です。

2. ライセンス形式の設定 (クライアント)

初期設定はスタンドアロンライセンス設定です。

1. ライセンスをアクティベート

1) アクティベートファイルの準備

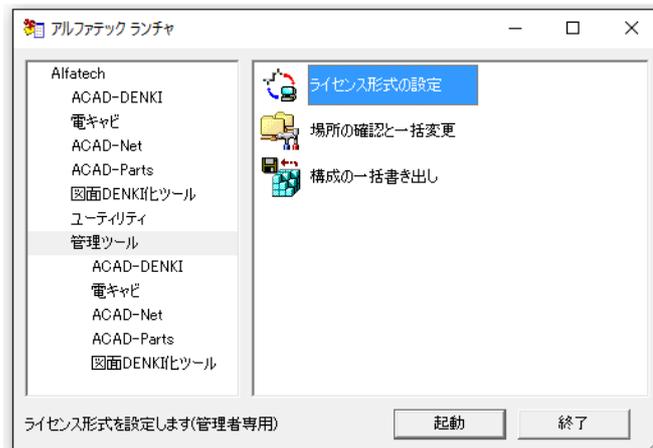
同梱されたアクティベートファイルを準備します。

※ 新規購入の際はメディアでの提供となります。再発行などでメール送付する場合があります。

2) [ライセンス形式の設定]の起動

Windows10:

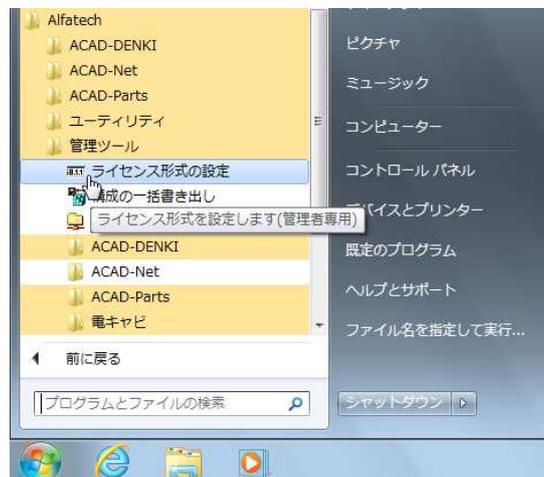
「スタート」-「すべてのアプリ」-「A」-「Alfatech」-「アルファテックランチャー」から
「管理ツール」-「ライセンス形式の設定」を選択し起動します。



Windows7:

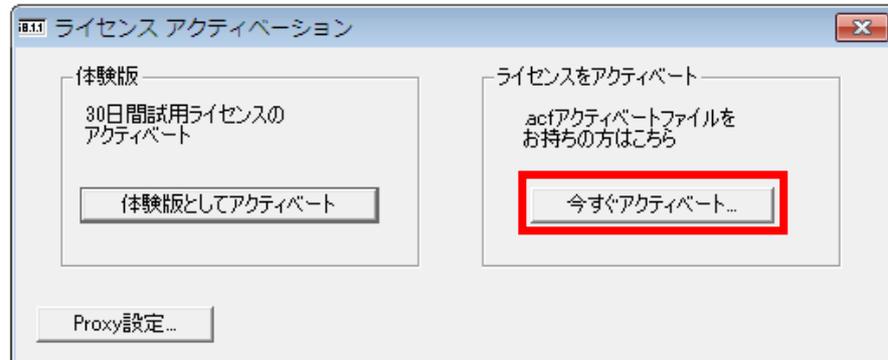
[スタート]→[すべてのプログラム]→[Alfatech]→[管理ツール]→[ライセンス形式の設定]を起動します。

(注意) 設定変更には管理者権限が必要です。



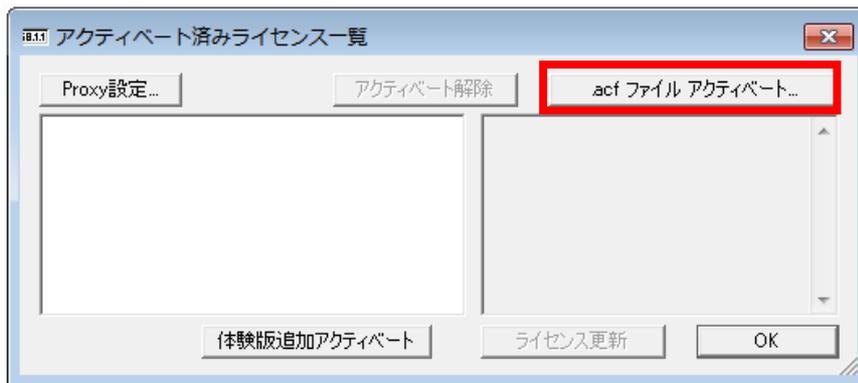
3) アクティベート作業の開始

[今すぐアクティベート]をクリックします。

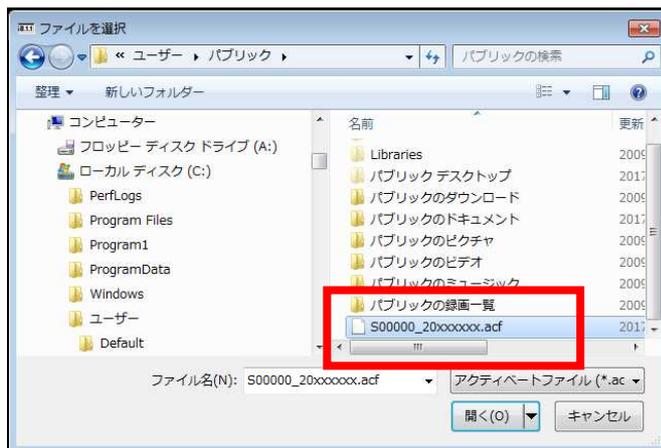


4) アクティベートファイルの選択

[.acf ファイル アクティベート]ボタンをクリックします。



[ファイルを選択]ダイアログより アクティベートファイルを選択し [開く]ボタンをクリックします。



ライセンスファイルのメディア内の license_list.txt に各アクティベートファイルに含まれる製品情報が記載されています。必ず、アクティベート作業の前に確認してください。

(補足)

以下の製品は、1つのアクティベートファイルにまとめます。その他は、別シリアル No のアクティベート

ファイルを発行します。必要に応じてアクティベートファイルを読み込み、アクティベートを行ってください。

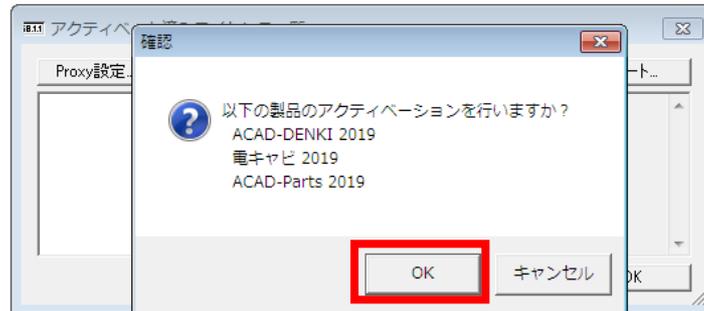
(1つのアクティベートファイルにまとめる対象製品)

ACAD-DENKI、電キャビ、ACAD-Parts、ACAD-IO、ホットマーカーリンク、ACAD-ELOP、

盤配線支援(2D/3D)

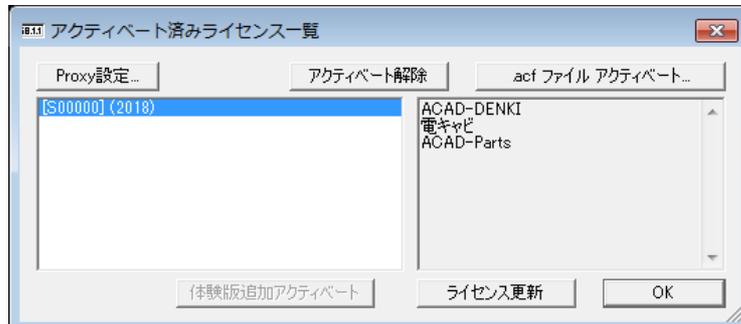
5) アクティベート製品の確認

選択したアクティベートファイルに含まれる製品名とライセンスバージョンを記載した確認メッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックし登録を行います。



6) アクティベート情報

アクティベートされたライセンス情報が表示されます(ACAD-DENKI フルパックの例)。



[OK]ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。

(ご注意)

インターネット接続に対して、プロキシサーバー経由の設定が必要な場合、アクティベートに失敗することがあります。

[Proxy 設定]ボタンをクリックし、プロキシサーバ設定のホスト名、ポート番号の欄に、ブラウザーに登録したプロキシ設定と同じ値(種類:HTTP)の入力を行ってからアクティベートを再実行してください。



2. ライセンスの更新

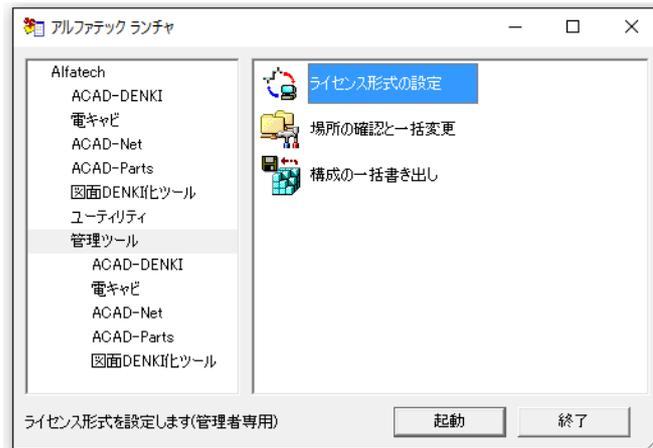
2016 以降、バージョンアップ後には [ライセンス更新]の作業が必要になります。

※ Ver.15 からのバージョンアップまたは新規インストールの場合、ライセンスの更新はできません。

1) 【ライセンス形式の設定】の起動

Windows10:

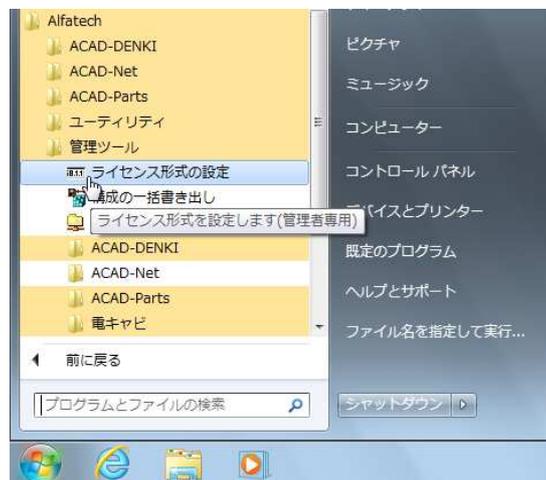
「スタート」-「すべてのアプリ」-「A」-「Alfatech」-「アルファテックランチャー」から
「管理ツール」-「ライセンス形式の設定」を選択し起動します。



Windows7:

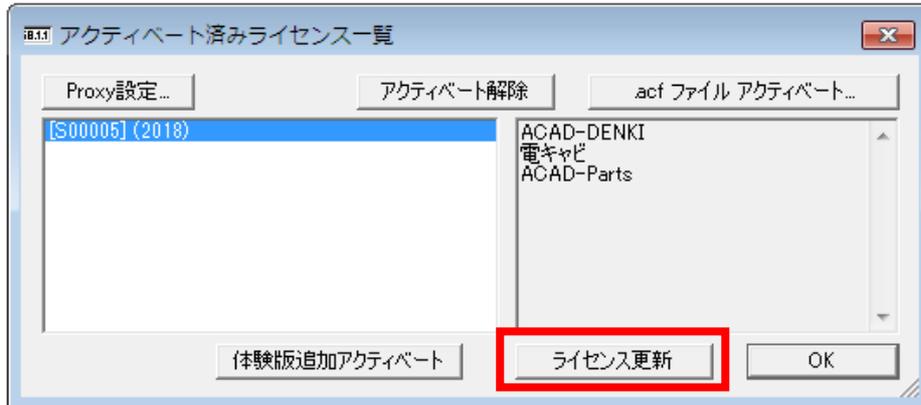
[スタート]→[すべてのプログラム]→[Alfatech]→[管理ツール]→[ライセンス形式の設定]を起動します。

(注意) 設定変更には管理者権限が必要です。



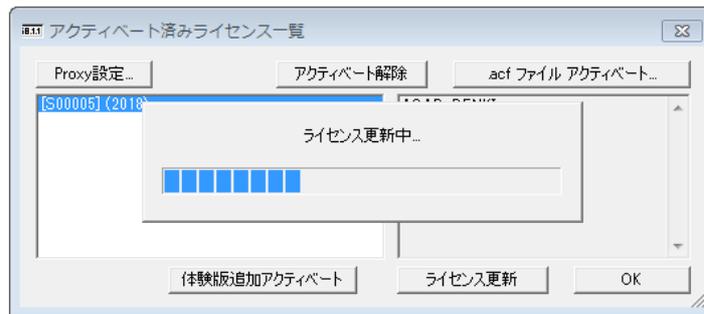
2) アクティベート済みのライセンスの更新

アクティベートされているライセンス情報が表示されます(ACAD-DENKI フルパックの例)。



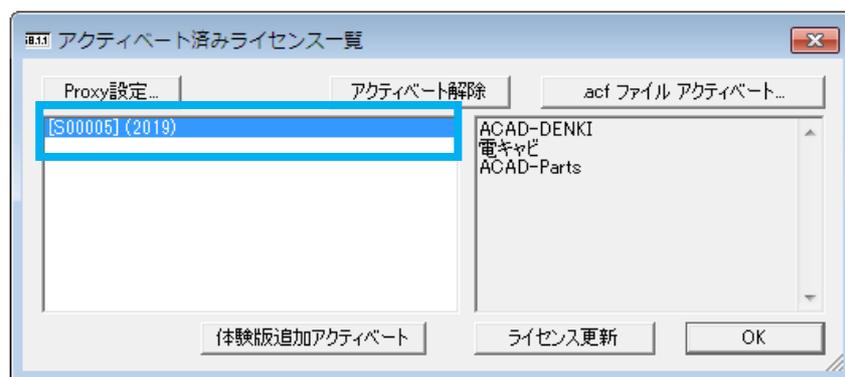
ライセンスを更新する行を選択し、[ライセンス更新]ボタンをクリックします。

※ 複数行を選択し、同時に更新することもできます。



3) アクティベート情報

製品情報の末尾に表示されているバージョン情報が更新されます。



作業完了後、[OK]ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。

(ご注意)

ライセンス更新を実行してもインストール製品のバージョンに変わらない場合、ライセンスを購入(バージョンアップ)されていないか、アクティベーションサーバーにトラブルが発生している可能性があります。

ご不明な点、および購入ライセンスの確認については、弊社サポート宛までご連絡ください。

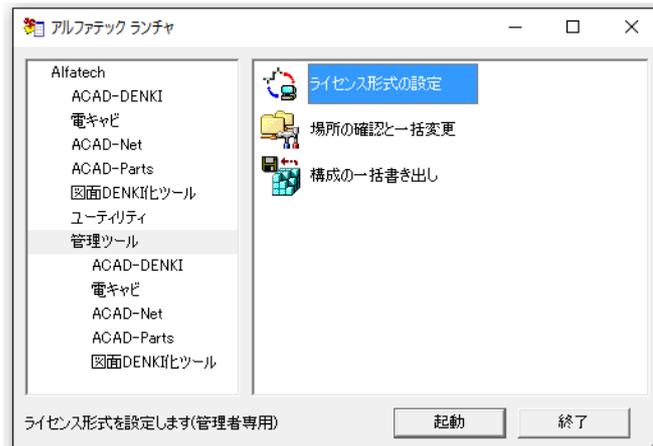
3. アクティベート解除

別の PC にライセンスを移動する場合にアクティベート解除の作業を行います。

1) 【ライセンス形式の設定】の起動

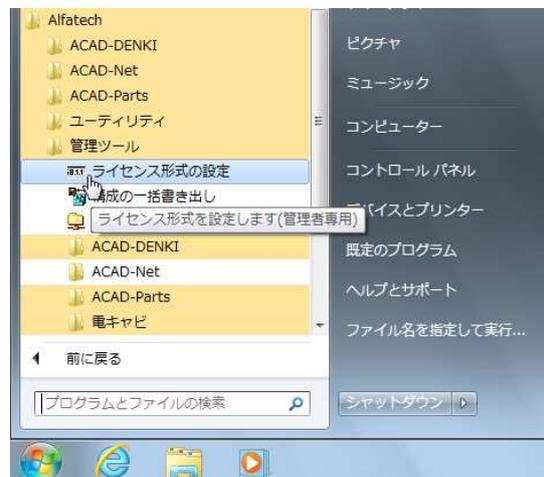
Windows10:

「スタート」-「すべてのアプリ」-「A」-「Alfatech」-「アルファテックランチャー」から
「管理ツール」-「ライセンス形式の設定」を選択し起動します。



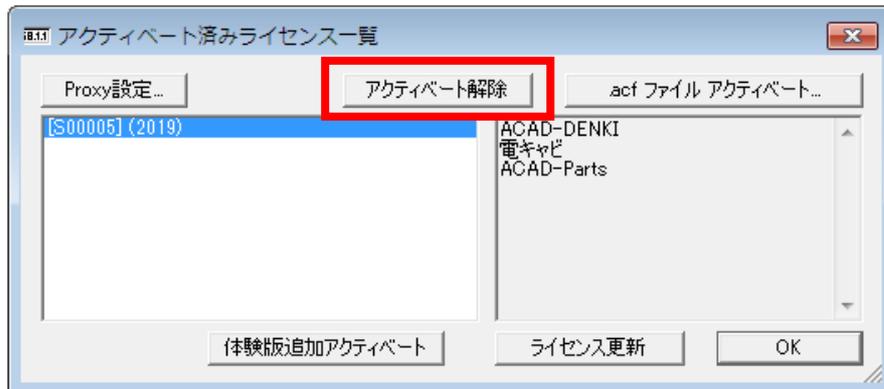
Windows7:

[スタート]→[すべてのプログラム]→[Alfatech]→[管理ツール]→[ライセンス形式の設定]を起動します。



2) アクティベート解除するライセンスの選択

アクティベートされているライセンス情報が表示されます(ACAD-DENKI フルパックの例)。



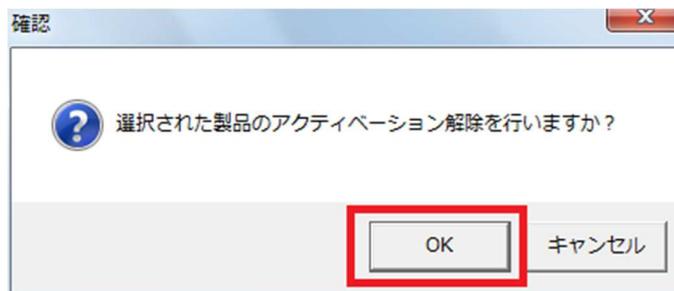
解除するライセンス情報の行を選択し、[アクティベート解除]ボタンをクリックします。

※ 複数行を選択し、同時に解除することもできます。

3) アクティベート解除の確認

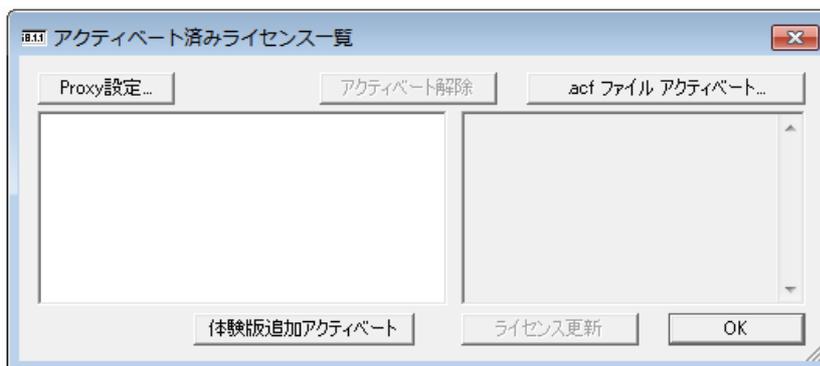
アクティベート解除の実行確認のメッセージを表示します。

[OK]ボタンをクリックすると、解除されます。



4) アクティベート情報

選択したライセンス情報のアクティベートが解除され、一覧から削除されます。



作業完了後、[OK]ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。

(ご注意)

アクティベート解除を行わずに PC を破棄などした場合、新しい PC でのアクティベートはできません。

必ず、アクティベート解除の作業を行ってください。

もし、お客様の方でアクティベート解除ができない状況が発生した場合、書面によるアクティベート解除の手続きを行っていただくことになります。

ご不明な点は、弊社サポート宛までご連絡ください。

(アクティベート強制解除の手続きの概要)

- 1) 弊社ホームページより解除申請書をダウンロードする。
- 2) 必要事項を記入し、捺印後にメールまたは FAX 送信する。
- 3) 弊社にて申請内容を確認した後、アクティベートの強制解除を実施する。
- 4) メールにて解除を連絡する。

V. フローティングライセンス (FlexNet ライセンス管理サービス)

1. インストール(サーバー)

1. 動作環境

ネットワークライセンス管理として FlexNet Publisher (Version 11.14.1) を採用しています。

OS : 以下の OS の 32 ビット版及び 64 ビット版をそれぞれサポートします。

日本語版 Windows Server 2016

日本語版 Windows Server 2012 R2

日本語版 Windows Server 2012

日本語版 Windows Server 2008 R2 SP1 以降

日本語版 Windows Server 2008 SP1 以降 (64 ビットは SP2 以降)

日本語版 Windows 10

日本語版 Windows 8/8.1

日本語版 Windows 7 SP1 以降

OS は、Windows Server 2016、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2008 R2 の各サーバーOS を推奨します。

冗長型ライセンスサーバーは、Windows Server 2016、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008 環境のサポートします。

Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 はサポートしていません。

CPU : Pentium 4 以上 1.2GHz (最低)

ネットワーク インターフェース カード(NIC) 必須

プロトコル : TCP/IP (IPv4)

仮想環境 : FlexNet Publisher のリリースノート記載サポート

VMware Workstation 10

VMware ESX 5.5

Citrix xenServer 6.2

Microsoft Hyper-V

・ Windows Server 2012

2. FlexNet ライセンス管理サービスのインストール(更新)

※分散、冗長サーバー構成で運用する場合、すべての対象サーバーに対してインストール作業を行ってください。

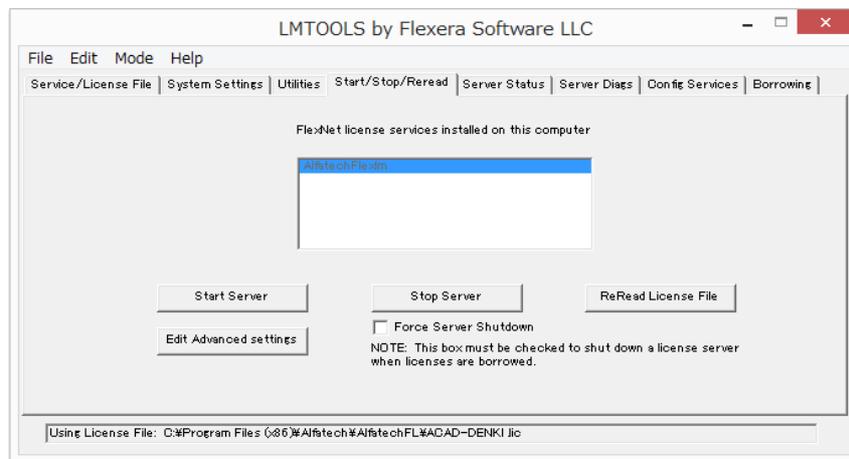
※クライアントが借用中のライセンスはすべて返却してください。

※オプションファイルを設定されている場合は、念のためにオプションファイルをバックアップしてください。

1) サービスの停止

[スタート]ボタンから [Alfatech]-[アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス]-[LMTTOOLS] または、アプリの一覧から [Alfatech]-[LMTTOOLS] をクリックします。

「Start/Stop/Reread」タブを表示し[Stop Server]をクリックします。

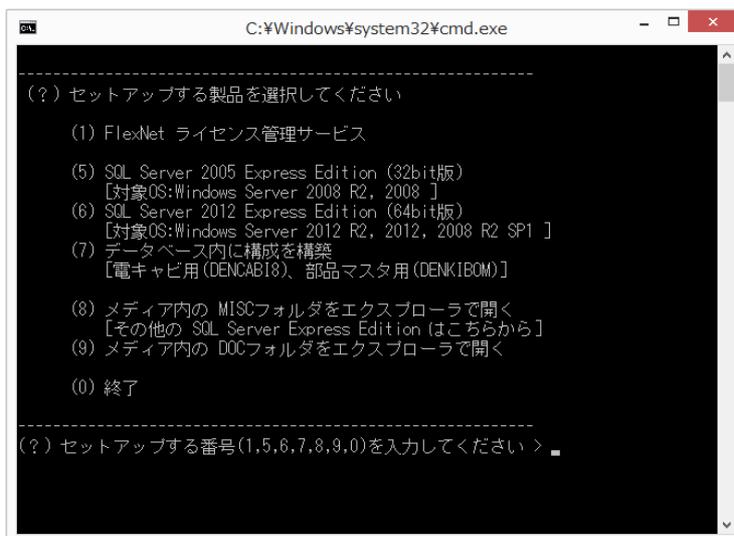


LMTTOOLS をの右上[×]をクリックし終了します。

2) コマンドプロンプトの起動

FlexNet ライセンス管理サービスをインストールするサーバーDVDドライブに「ライセンス管理サービス」のメディア※を挿入します。

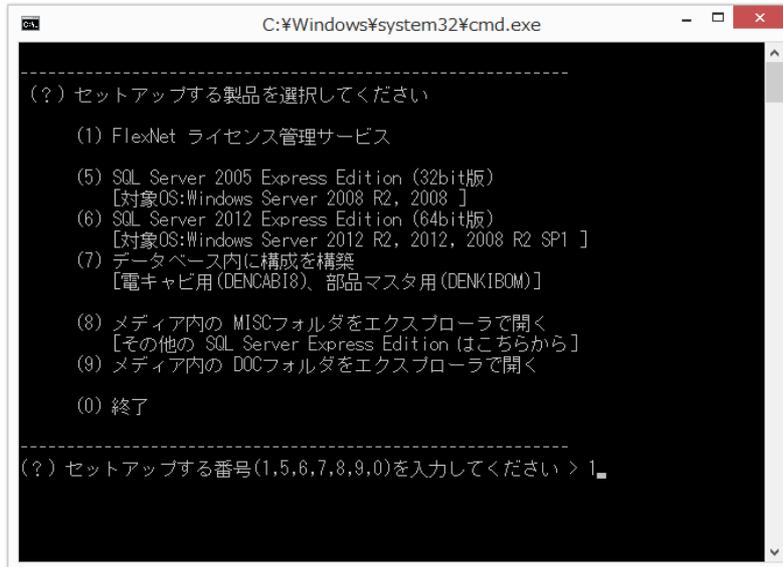
Install.bat の起動後、以下の画面を表示します。



※ 上記は「SQLServer 接続設定を含む」のメディアの画面構成です。

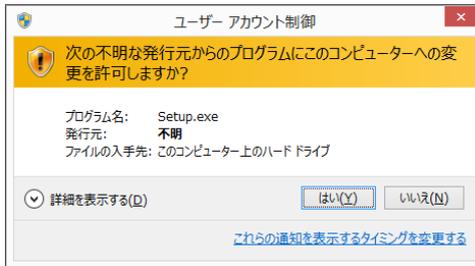
3) セットアップする番号を入力

セットアップする番号に 1 を入力し、Enter を押します。



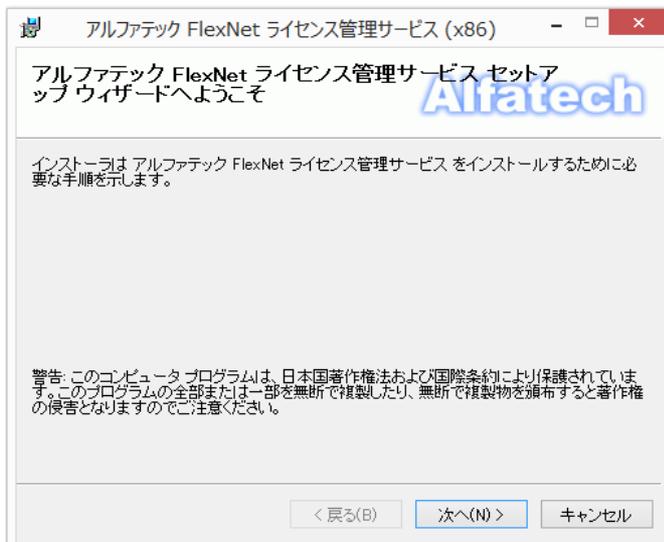
以下の確認メッセージを表示することがあります。

[はい] ボタンをクリックし、実行してください。



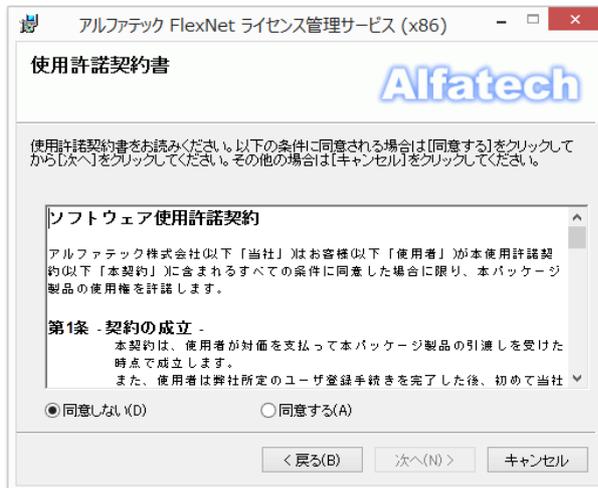
4) インストーラの起動

次に、以下のウィンドウが表示されますので、**[次へ(N)>]** ボタンをクリックします。



5) 使用許諾契約

本ソフトをご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。ソフトウェア使用許諾契約を注意深くお読みください。



すべての条項に同意いただける場合は **[同意する (A)]** を選択し、**[次へ (N) >]** ボタンをクリックします。

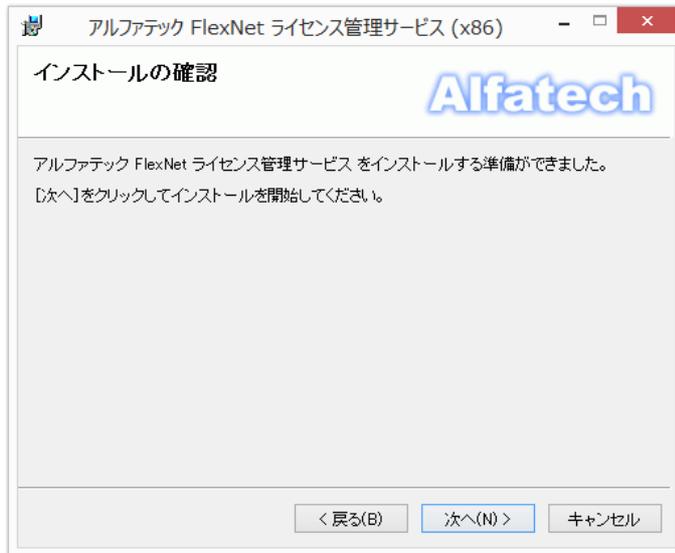
6) インストールするフォルダの選択



インストールするフォルダを選択し、**[次へ (N) >]** ボタンをクリックします。

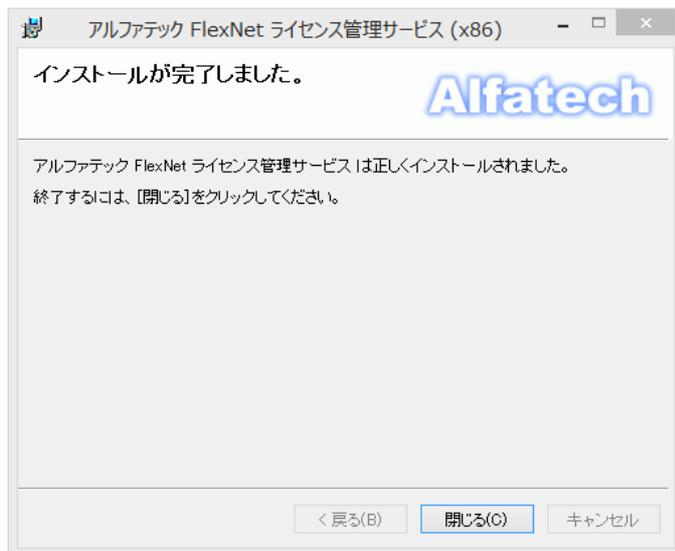
※上図は 64bitOS 上にインストールした場合のインストールフォルダ名です。

7) インストールの確認



[次へ (N) >] ボタンをクリックすると、インストールが始まります。

8) インストールの完了



FlexNet ライセンス管理サービスのインストールは完了です。

[閉じる (C)] ボタンをクリックし、インストーラを終了します。

なお、コンピュータの状態によっては再起動を促す画面が表示されることがあります。

このときは必ず OS を再起動してください。

また、最初のセットアップする製品の選択画面に戻りますので、終了してください。

2. ライセンスファイルの更新とサービスの起動

※分散、冗長サーバー構成で運用する場合、すべての対象サーバーで作業してください。

1. ライセンスファイルのコピー

取得したライセンスファイルを、サーバーの「アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス」のインストール先フォルダ (64bitOS での例: C:\Program Files (x86)\Alfatech\AlfatechFL) 以下にコピーします。

オプションファイルをバックアップされている場合、オプションファイルを戻してください。

2. LMTOOLS の実行

[スタート]ボタンから [Alfatech]-[アルファテック FlexNet ライセンス管理サービス]-[LMTOOLS] または、アプリの一覧から [Alfatech]-[LMTOOLS] をクリックします。

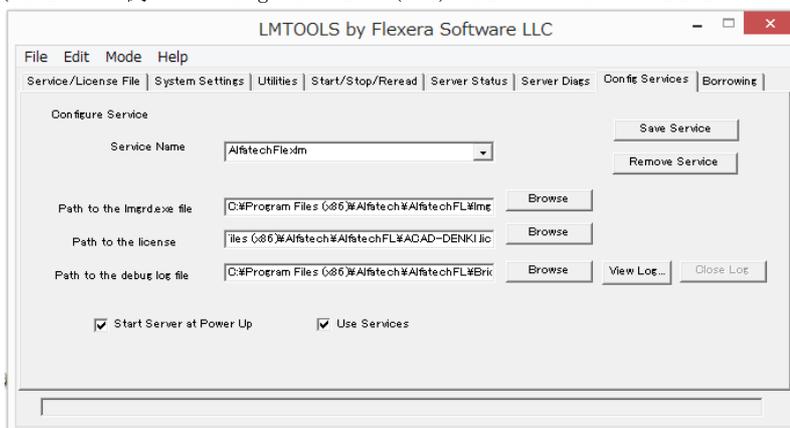
3. Config Services の設定

コピーされたライセンスファイルが既存のライセンスファイル名と違う場合、ライセンスファイルの再指定を行います。

※提供のライセンスファイルの名称は任意に変更することが可能です。既存のライセンスファイルと同名で上書きされた場合、本手順は不要です。

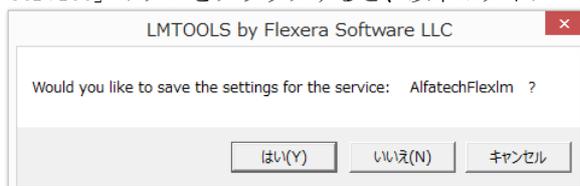
ライセンスファイルを開いて編集をされないようご注意ください。

「Path to license file」の [Browse] ボタンをクリックし、ライセンスファイルを選択します。
(64bitOS の例: C:\Program Files (x86)\Alfatech\AlfatechFL\Licfile.lic)



4. サービスの設定値の保存

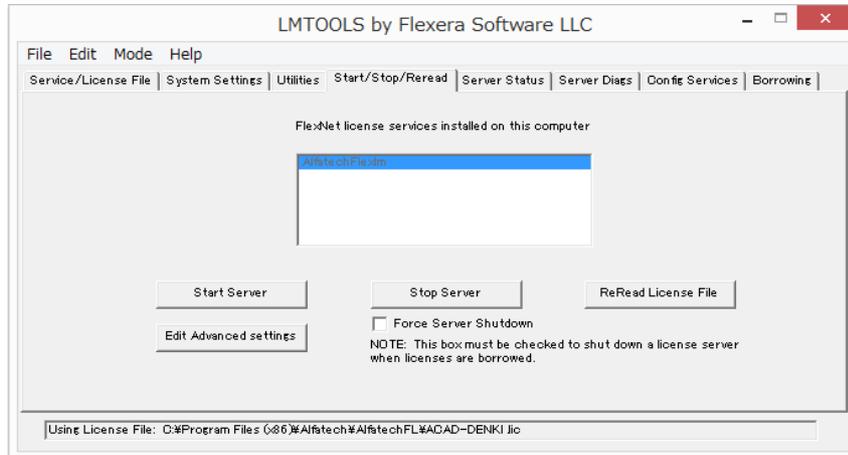
[Save Service] ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。



[はい(Y)]ボタンをクリックし、設定値を保存します。

5. サービスの開始

「Start/Stop/Reread」タブを選択して、「Start Server」ボタンをクリックする。



ここまでの作業を、すべての対象サーバーにて実施し、次の動作確認を行ってください。

6. 動作確認

ライセンスサービスが正常に起動しているかを確認します。

※冗長サーバー構成の場合は、すべてのサーバーの設定を終えてから確認してください。

「Server Status」タブを選択する。

「Perform Status Enquiry」ボタンをクリックする。

ライセンスの状態が表示されます。正常な場合、トータルのライセンス数などが確認できます。

7. ライセンスモニタによる確認

クライアントにてライセンスモニタを起動します。

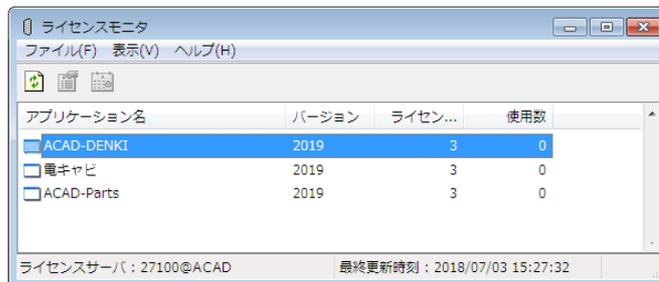
Windows10 :

「スタート」-「すべてのアプリ」-「A」-「Alfatech」-「アルファテックランチャー」から

「ユーティリティ」-「ライセンスモニタ」を選択し起動します。

Window7 : 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Alfatech」-「ユーティリティ」-「ライセンスモニタ」を起動します。

サーバと通信が正常に行われている場合、ライセンスサーバの状態が表示されます。



※お客様の環境や購入ライセンス数によって、「アプリケーション名」、「ライセンス数」、「ライセンスサーバ」などの表示情報は異なります。ライセンスモニタはアプリケーションごとのライセンス数を表示します。

VI. 付録

1. 各製品とオプションの起動確認

1. ACAD-DENKI の起動

電キャビをご購入の場合は、次の「電キャビの起動」での運用をお勧めします。

スタートメニューの **ACAD-DENKI** フォルダにある「ACAD-DENKI」をクリックしてください。

インストール時に「デスクトップにアイコンを作成する」を選んだときは下のようなアイコンが作成されますので、「ACAD-DENKI」アイコンをダブルクリックしても起動することができます。

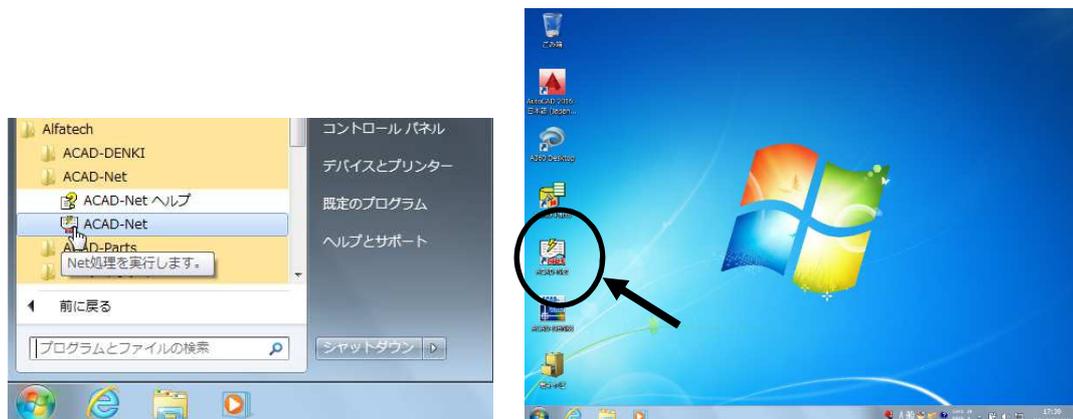


2. ACAD-Net の起動

「ACAD-DENKI」の [配線] 内のメニューコマンドをご使用ください。

または、スタートメニューの **ACAD-Net** フォルダにある「ACAD-Net」をクリックしてください。

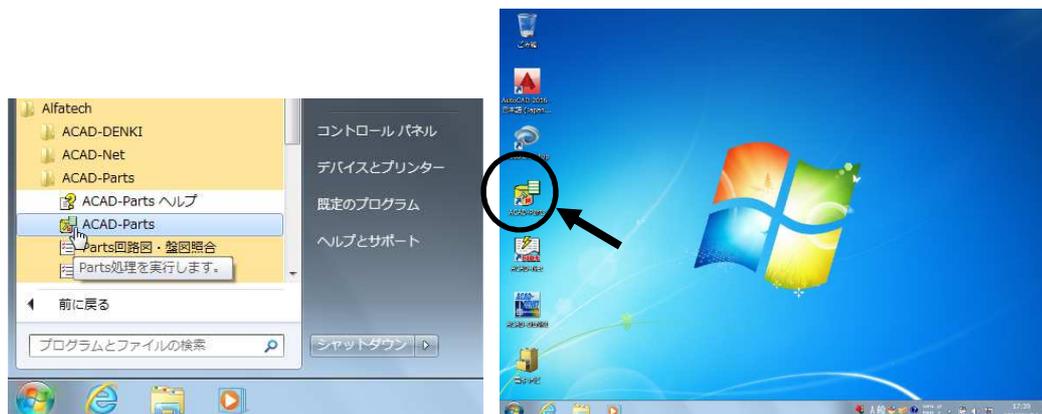
インストール時に「デスクトップにアイコンを作成する」を選んだときは下のようなアイコンが作成されますので、「ACAD-Net」アイコンをダブルクリックしても、起動することができます。



3. ACAD-Parts の起動

「ACAD-DENKI」の「ACAD-Parts」メニューコマンドをご使用ください。
または、スタートメニューの ACAD-Parts フォルダにある「ACAD-Parts」をクリックしてください。

インストール時に「デスクトップにアイコンを作成する」を選んだときは下のようなアイコンが作成されますので、「ACAD-Parts」アイコンをダブルクリックしても、起動することができます。



4. ACAD-IO の起動

スタートメニューの ACAD-IO フォルダにある「IO 自動作図」をクリックしてください。

インストール時に「デスクトップにアイコンを作成する」を選んだときは下のようなアイコンが作成されますので、「IO 自動作図」アイコンをダブルクリックしても、起動することができます。



5. EL オプションの起動

「ACAD-DENKI」の電子回路メニューのコマンドをご使用ください。

6. ホットマーカーリンクの起動

ACAD-Net を起動し、ネット処理ダイアログ内の処理選択リストボックスから「CTK ホットマーカー作成」を実行してください。

または、「ACAD-DENKI」の「ACAD-Net」から「CTK ホットマーカー作成」を選択実行することもできます。

7. 電キャビの起動

スタートメニューの **電キャビ**フォルダにある「電キャビ」をクリックしてください。

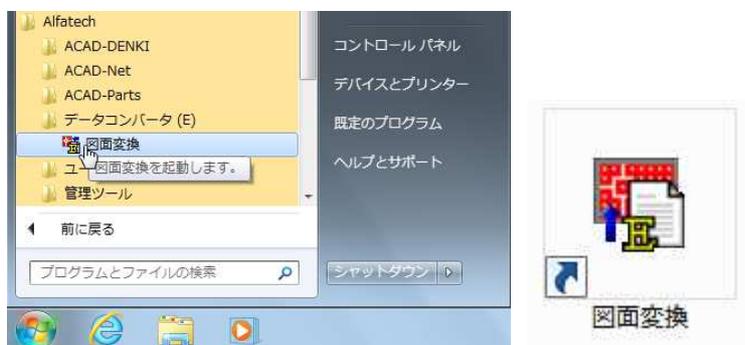
インストール時に「デスクトップにアイコンを作成する」を選んだときは下のようなアイコンが作成されますので、「電キャビ」アイコンをダブルクリックしても、起動することができます。



8. データコンバータ(E)の起動

スタートメニューの **データコンバータ(E)**フォルダにある「図面変換」をクリックしてください。

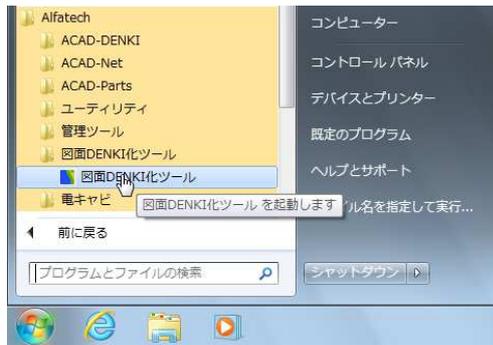
インストール時に「デスクトップにアイコンを作成する」を選んだときはデスクトップにアイコンが作成されます。「図面変換」アイコンをダブルクリックしても起動することができます。



9. 図面 DENKI 化ツールの起動

スタートメニューの **図面 DENKI 化ツール** フォルダにある「図面 DENKI 化ツール」をクリックしてください。

デスクトップにアイコンが作成されますので、「図面 DENKI 化ツール」アイコンをダブルクリックしても起動することができます。



2. Windows 8 での起動方法

Windows 8/8.1 のデスクトップには、Windows 7 やWindows10 のように スタートボタンがありません。スタートメニューからの操作を行うことができませんので、スタート画面の「アルファテック ランチャー」という起動アイコンから起動してください。



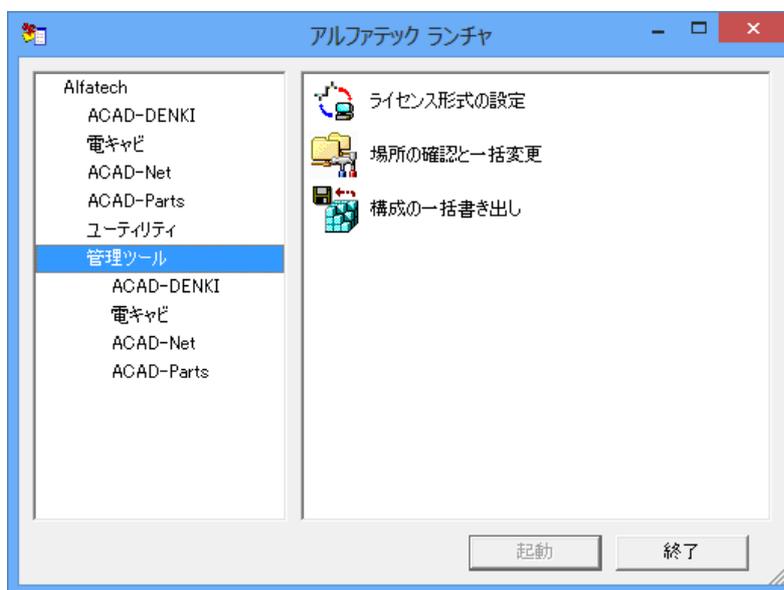
(ご注意)

スタート画面への自動登録は、インストールユーザーのみです。別のユーザーでお使いになる場合は、「検索」などから「アプリ」画面を表示し、[Alfatech]-[アルファテック ランチャー]を選択してください。

スタート画面に登録したい場合は、「アルファテック ランチャー」をマウス右クリックし、「スタート画面にピン留めする」を選択してください。

こちらを実行すると、Windows10 と同じ構成のメニューウィンドウが表示されます。

※ フルパック構成の表示例です。



起動方法は、アイコンをダブルクリックするか、選択後に [起動] ボタンをクリックします。

また、よく使うアイコンのショートカットをデスクトップに作成したい場合、アイコンを選択し、マウス右クリックメニューの「デスクトップにショートカットを作成」を実行してください。

尚、インストール時にデスクトップにアイコンを作成するが有効な場合、従来と同じくデスクトップに起動用のアイコンを作成します(デスクトップにアルファテック ランチャーのショートカットは自動作成しません)。

ACAD-DENKI 2019 バージョンアップユーザーガイド

2018年7月 第1版発行

発行者

図研アルファテック株式会社

<http://www.alfatech.jp/>
